

びんごのくにみつぎぐんおのみちちょう しぶや  
備後国御調郡尾道町 渋谷家文書 目録

(『広島県立文書館 収蔵文書目録』第1集 所収)

広島県立文書館

平成24年(2012)8月

凡 例

- 1 本目録は、『広島県立文書館 収蔵文書目録』第1集(平成6年3月刊)に掲載された「備後国御調郡尾道町 渋谷家文書」の目録である。
- 2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号(199103)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 189/1      199103/189/1

表 題 資料にある原表題をそのまま採った。原表題がないものは、仮題を付けて〔 〕書きとした。内容について補記が必要な場合は、( )書きで補った。頭に○を付したのは、集合形態等をした文書の内訳であることを示す。

年 代 資料に記された作成年月日を探り、推定は( )書きとした。

作 成 資料にある作成者名をそのまま採り、資料に授受関係のあるものは で結んで表記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。

備 考 補記すべき備考があれば、 付きで示した。
- 3 文書の排列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の解説を冒頭に付した。
- 5 本目録で使用している日本語文字のうち、JIS規格(JIS X 0208, 1997)に含まれないものは、方(より)、および、①などの丸付き数字である。これは、特殊な方法で表示してあるので、文字として検索すること、および、テキストとして抽出することはできない。本ファイルの利用にあたっては、その点に留意されたい。

## 小 目 次

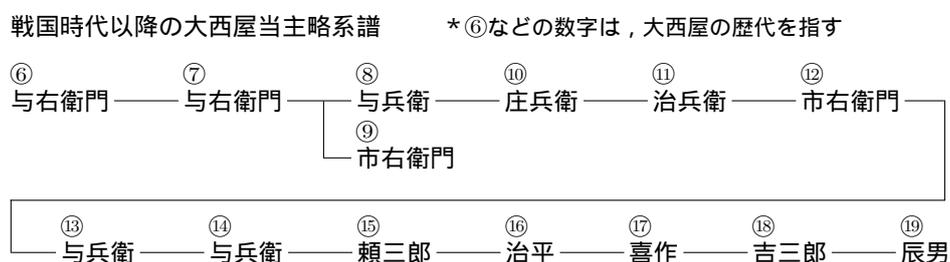
1 中 世 .....	1
書翰 .....	1
土地給付 .....	3
2 近 世 .....	4
年代記 .....	4
町定 .....	4
土地 .....	4
戸口（宗門改） .....	4
租税（年貢） .....	6
租税（おろし米） .....	10
租税（加子役） .....	11
町財政 .....	15
その他 .....	30

## 解 説

### 1 大西屋（<sup>おおにしや</sup>渋谷氏）について

戦国時代末期から江戸時代前期にかけて、尾道町で豪商として栄えた大西屋（渋谷氏）の古文書が、平成3年5月7日付けで、その末孫に当たる<sup>しぶや たつお</sup>渋谷辰男氏から当文書館に寄贈された。

渋谷氏はもともと相模国（神奈川県）の住人であり、彦右衛門の代に安芸国高田郡吉田に来て毛利氏に仕え、やがて尾道に移り住み、船持商人として栄えるようになったと伝えられる。しかし、残された渋谷家文書の多くが、同家が隆盛を誇った戦国時代末期から江戸時代初期のものに限られるため、その前後の渋谷氏歴代の当主の系譜をたどることは必ずしも容易ではない。また、江戸時代のかなり早い時期に、渋谷氏は「しふや」と小物屋の両家に分かれたと考えられるが、その関係も不明なところが少なくない。そこで、渋谷家文書によりながら、過去帳や墓碑銘・家伝をも参考にして、大西屋の歴代当主の略系譜を作ると、次のようになる。



これらの大西屋の歴代当主のうち、渋谷家文書で存在が確認できるのは、⑥の与右衛門から⑬の与兵衛までである。なお、⑬の与兵衛の場合は、天明3年(1783)5月に写された「歳代記」に「十三代与兵衛良通」と記されていた〔24〕。

ところで、⑥・⑦の与右衛門の場合、戦国時代末期、天正10年(1582)頃から、戦国大名毛利氏のもとで、船持商人として活躍し、武士身分を持つものとして、「渋谷与右衛門尉」と官途名で呼ばれることが多かった。しかし、江戸時代に入ると、「渋谷ノ与右衛門」あるいは「しふや与右衛門」と呼ばれた〔84〕。そして、これ以降、自称・他称いずれにおいても、家の名前を「しふや」と平仮名で表わすようになり、「渋谷」の漢字を用いることはなかった。この変化は、渋谷氏が武士身分を失い、町人身分になったことに因むものであろう。

渋谷氏が大西屋を名乗るのは、江戸時代中頃以降であろう。明暦2年(1656)の時点で、⑨の市右衛門は「しふや市右衛門」と自称している〔179〕。「しふや」が屋号であったのである。大西屋の呼称が初めて確認できるのは、正徳5年(1715)の年貢下札で、「大西屋庄兵衛」と記されていた〔131〕。これは⑩の庄兵衛に当たる。⑪の治兵衛も、「大西屋治兵衛」と記していた〔25〕。

### 2 渋谷家文書の伝来

渋谷家文書のうち、戦国時代の毛利氏関係の文書は、これまでに何度となく写しが作られている。その最も早いものは、「しふや」から小物屋が分家したときではないかと考えられる。『広島県史』古代中世資料編IV(昭和53年刊)には、小物屋の末孫という渋谷謹次氏の所蔵文書が翻刻されており、その文書群の中に、幕末まで大西屋に伝来した文書の写しが、1巻(16通)と1通含まれている。前掲の資料編の番号でいえば、13号~16号と12号の文書である。その一方で、4号、6~11号までの文書は、正文であるにも拘らず、大西屋に伝来した形跡がない。おそらくは、小物屋が分家したときに、正文の一部とともに、これらの写しが分け与えられたものであろう。天正18年(1590)4月3日付けの毛利輝元仮名書出写(12号)の末尾に、「渋谷甚二郎」の名前があるが、この人物こそが渋谷家文書の一部を譲られた、小物屋の初代に当たるのではないだろうか。

ゆえに、戦国時代の毛利氏関係の文書は、小物屋に譲られたもの以外は、「しふや」の宗家、つまり大西屋に伝えられたものと推測される。これらの大西屋伝来の文書は、文久2年(1862)12月に

作られた「渋谷家伝来什物惣目録」によって確認できる。ところで、江戸時代の文書は、ほとんどが「しふや」の宗家に関わるものといえる。

瀬戸内海の交通の要衝に位置した尾道町は、鎌倉時代以前から港町として栄え、江戸時代末期には人口が1万近くにもなる大都市に発展していた。だが、明治時代に入ると、かつて隆盛を誇った旧家の中で、家運が傾き家財を手放したり、あるいは尾道の町を離れるものも出てきた。このことも災いしてか、尾道の町方の古文書の多くが消滅した。残された町方文書としては、江戸時代に代々尾道町の町年寄を勤め、有数の豪商であった橋本家の文書が代表的なものであるが、戦国時代から江戸時代初期のものはほとんど残っていない。その意味でも、大西屋の古文書は尾道町の当時から伝える貴重な資料と考えられるようになった。ところが、同家の家庭的な事情により、この古文書類を親類筋に預けたり、一時的であれ人手に渡したりした。そのため、小物屋に写しが伝えられた17通の戦国時代の古文書の正文はすでに散逸し、大西屋伝来の文書群の中には見出せない。渋谷謹次氏が以前に、そのうちの3通を所持していたことが知られるのみである。

渋谷家文書はこの後も、2回書写された。第1回目は、大正15年(1925)頃で、市立尾道図書館の川上亮作氏が、渋谷新右衛門氏が所蔵していた古文書を郷土史の資料として写したもので、「渋谷家覚書」・「渋谷家伝来什物惣目録」など10点を数える。この2点を除けば、ほとんどが戦国時代のものといえる。江戸時代初期の文書にまで関心が及んでいないことが分かる。なお、渋谷新右衛門氏は謹次氏の御尊父ということで、「渋谷家覚書」などもともと小物屋に伝わったものも2点書写している。その他の8点は、大西屋伝来の文書であった。川上氏が書写したものは、「渋谷家所蔵古文書 全」として、現在尾道市立図書館に架蔵されている。

第2回目は、九州帝国大学教授長沼賢海氏が、昭和3年(1928)に渋谷辰男氏から借用して、書写したものである。このときには、戦国時代の文書は言うまでもなく、江戸時代の文書もほとんど借り出された。そして、長沼氏はこの膨大な文書群を解説・書写したうえで、『尾道郷土史論』(1933年刊)を著す参考資料として用いた。その後、江戸時代初期の尾道町の研究は、渋谷文書(上下2冊と無表題のもの5冊)・渋谷雑録(8冊)・尾道書類(5冊)などと題して、九州大学文化史研究施設に架蔵された長沼氏の書写本をもとに続けられることになった。長沼氏が渋谷家文書を書写したことは、このように歴史研究に寄与するところ大といわざるをえない。ただ、残念なことは、当文書館の渋谷家文書と長沼氏の書写本との間に齟齬が見られることである。つまり、長沼氏の書写本にあって、私たちが目にするのでできない古文書がかなりの点数に達する。しかし、長沼氏はすでに亡く、その責任がいつどこにあるのかは全く闇の中といえる。ただ、利用者の便をも考え、この事実だけを記録しておく。

なお、いま一つ忘れてならないのは、渋谷辰男氏御夫妻が大西屋伝来の古文書類を守るために、これまで並々ならぬ努力を傾けてこられたことである。御夫妻の熱い思いがなければ、渋谷家文書はすでに散逸していたであろう。

### 3 渋谷家文書の構成

渋谷家文書は大きく分ければ、戦国時代の文書と江戸時代前期の文書に区分できるように思う。そこで、この二つの区分に従って、渋谷家文書の構成について簡単に説明を加えることにする。

#### (1) 戦国時代の文書

戦国時代の文書は、その形態から三つに分けることができる。

まず最初に、毛利輝元の直状(捻文)であるが、いずれも裏打ちをして、包紙に入れられている。つまり、卷子には仕立てず、元の形態のままに保存されてきたのである。毛利輝元捻文は全部で8通残っている〔1~8〕。

次は、卷子に仕立てられた文書で、これはさらに二つ分けられる。その一は、毛利氏の奉行人が渋谷与右衛門尉に宛てた書翰で、3巻の卷子に仕立てられている。そのうち2巻には「書翰類」という題簽が、残りの1巻にも「御添状」という題簽が貼ってある。「書翰類」のうち「ノ号」と称する卷子〔9〕は、毛利氏の奉行人が渋谷与右衛門尉に公的な立場で直々に指示を与えたもので、この

中には、戦国時代末期の毛利氏の基準貨幣「鍛<sup>ちゃん</sup>」や鉄炮の火薬「合薬」に関するものなど、興味深い文書が含まれている。なお、いま一つの「ク号」と称する卷子〔10〕は、豊臣秀吉の田麦三分の一公納令を渋谷氏にのみ格別に教えるなど、前者に比べて私的な趣の強い文書群である。このように、毛利氏奉行人の書翰類を成巻するにも、その性格によって分類が行われていたことが分かる。しかし、「ノ号」の卷子の、満願寺法印の上洛に関する文書〔9-9〕は、次に述べる「御添状」の卷子に入るべきものと考えられる。そこで、「御添状」(タ号)という題籤の卷子〔11〕であるが、これを文字通り理解すると、毛利輝元直状の副状の文書群ということになる。ところが、残された渋谷と右衛門尉宛の毛利輝元直状と、この卷子に貼られた文書群との対応関係を照合すると、符合するものはわずかに一組しか見出せない。さて、その二は、「高麗陣時分書物」(ヤ号)という題籤が貼られた卷子〔12〕である。これは他の卷子とは違い、軍需物資を運んだときの、渡状・請取状の類を貼り接いだものである。題籤からも類推できるように、そのうちの主なものは、豊臣秀吉の朝鮮侵略戦争のときの文書である。関ヶ原合戦のよりの送状・請取状も一部含まれている。これらの文書によっても、船持商人渋谷氏と戦国大名毛利氏との深い結び付きがうかがえる。

最後は、所領の打渡坪付の類〔13~23, 28・29〕であるが、これは堅紙を貼りついた当初の姿がそのまま残されており、破損・汚損もかなり進んでいた。それで、当文書館で修復を施した際に、保存の便をも考へて、7巻の卷子に仕立て直した。惣国検地以降の、備後国沼隈郡・品治郡の、このような打渡坪付が残されているのは珍しく、地域史を明らかにするうえでも貴重である。

このように、戦国時代の渋谷家文書の場合、内容のうえから三つに分類され、それぞれにふさわしい形で保存されてきたものと推測される。しかし、最も珍重され、何度となく書写された、毛利輝元の直状だけが、なぜ成巻されなかったのか、その理由は不明と言わざるをえない。

## (2) 江戸時代の文書

さきにも述べたように、元来渋谷家文書には数多くの江戸時代前期のものが含まれていた。九州大学文化史研究施設の長沼文庫に収められている、「渋谷文書」「渋谷雑録」と名付けられた長沼賢海氏の謄写本(当文書館ではその複製資料が利用できる)がその全貌である。この原文書の行方は永らく不明で、広島県史編さん室では、渋谷辰男氏の所蔵文書を調査した際にもこれらについては調査しなかったため、判読の困難さをともなう長沼文庫の謄写本を用いて研究が行われてきた。

しかし、当文書館の展示「近世尾道の発展と商人」を機に、全体からすれば限られたものであったが、渋谷家で木箱1箱に収められた近世前期の文書210点を確認することができ、学術研究に資するため御寄贈していただけることになった。

平成3年に写真撮影のため借用した際には、これらの文書はいくつかにまとめて巻かれていた。これは長沼文庫の「渋谷文書」の順序とも違い、もちろん原形とはいえないが、その現状を保存するために、まとまりごとに番号をつけ整理を行った。そのまとまりはこの目録上では表現できなかったが、記録として残してある。また、これらの中には破損したり、酸化が進んで朽ちかけている箇所も多く見られたため、寄贈後にこれらのほとんどに裏打ちなどの補修を施した。したがって、現在の渋谷家文書は、御寄贈いただいたときのものとはかなり変わっているが、複製資料でその原形を確認することは可能である。

渋谷家文書の近世文書の特色は、中世文書が渋谷氏個人と毛利氏の関係を示すものであったのとは異なり、尾道町で5人の町年寄に次ぐ月行司筆頭(組頭)の一員として町の運営を行うことによって集積された文書であることである。目録では、「年代記」「町政」「土地」「戸口(宗門改)」「租税」「町財政」「その他」の7つの中項目を置き、「租税」はさらに「年貢」「おろし米」「加子役」の3つの小項目を立てた。渋谷家文書を用いた研究は少なくないので、詳しくはそれを参考にしたい。ただし、ここでは概略を述べるに留める。

「町政」で注目されるのは、元和2年(1616)3月〔177〕と翌3年5月〔107〕に作成された2通の「町定」である。いずれも5名の年寄と60名の月行司が、衆議によって取り決めたものであり、当時の尾道町に「自治」的組織があったことが明らかになる貴重な資料である。

「戸口(宗門改)」は、寛永10年10月の年代がみえる、広島藩最古の宗門改め書28通を含む33通で

ある。宗門改め書は書式に未だ不統一が目立ち、宗門改めの制度が確立する前段階のものであることを示している。〔156〕の島原落人とキリシタン取締に対する請書は、借家住人など地下のものを含む59名の連署が残されている。

「租税」のうち「年貢」は、慶長6年(1601)から正徳5年(1715)までの年貢納入に関する資料である。寛永15年(1638)まで、尾道町では町域として石盛が行われていなかったため、屋敷分については福島時代には「地子銭」、浅野時代でも当初「地子銀」の形で納入されている。近世初期の町での租税負担の扱われ方を知る上で貴重な材料を与えてくれる。「おろし米」関係の資料は、尾道の初期豪商が領主米の販売を委託され、町の責任でまとめた算用書などで、近世初期における尾道豪商と領主との関係や、尾道を中心とする市場構造、また彼らが商品流通の上で果たした役割を示すものである。「加子役」では、福島・浅野両時代における「加子」の夫役徴発(尾道の加子は瀬戸内海の海上輸送に重要な役割を果たした)の支払勘定に関する資料と、加子浦から取り立てる苦・葛などの船具代銀の納入に関する資料の二つに分けることができるが、あわせて年代順に配列した。なお、これは次の「町財政」とも重なる部分が多い。

「町財政」に関する資料は、近世文書の中では最も点数が多い。数日間、または1か月程度にわたる算用関係の文書が貼り継がれ、最後に月番の月行司によって算用が行われ、町年寄に提出されている。これらは、尾道町の「自治」的運営がいかにして行われていたかを解き明かす鍵となろう。

なお、この近世文書を時代的に「福島時代」「浅野時代」の2つに分類することも可能である。福島正則が芸備2か国の領主であった16年間の資料は、まとまったものとしては佐伯町所蔵の小田文書(同町の指定文化財)しかなく、福島氏の治政を研究するにあたってこの渋谷家文書は不可欠であろう。また、浅野時代初期の文書も民間にはほとんど伝わっていないため、きわめて貴重である。このように、渋谷家文書は尾道の地域に限らず福島時代を含む広島藩初頭の研究に資するところ大であり、十分な活用がはかられることを願ってやまない。

#### 4 渋谷家文書の利用

大西屋伝来の渋谷家文書を最も早く紹介したのは、亀山士綱が文化13年(1816)に著した『尾道志稿』と考えられる。この本の巻の十には、「渋谷系譜 大西屋」という柱を掲げ、絵入りで渋谷金丸の鎧・甲冑・太刀を紹介したあと、毛利輝元の直状16通を載せている。次は、萩藩で幕末に編まれた、『閩閩録遺漏』巻3の2の「黒小箱入御判物写」を挙げることができる。この写本にも、輝元の直状が16通入っており、取り上げた文書・配列とも『尾道志稿』のものと同じである。

ところで、渋谷家文書のうち、毛利輝元の直状以外の文書群に最初に注目したのは、さきに触れた長沼賢海氏であろう。長沼氏は宗門人別帳など江戸時代の文書にも目を向け、その成果を『尾道郷土史論』に生かした。昭和8年のことである。ついで、昭和14年・15年に、青木茂氏は旧版の『尾道市史』の上巻・中巻を刊行し、そのおりにこの文書群の一部を利用した。青木氏はまた、昭和46年に『新修尾道市史』の第1巻を、昭和47年にその第2巻を刊行したが、このときにも渋谷家文書を引用している。取り分け、第1巻には、尾道市立図書館蔵の川上亮作氏書写本が、資料として翻刻されている。

なお、戦国時代の文書に限られるが、渋谷家文書を網羅的に取り上げたものに、『広島県史』古代中世資料編IV(昭和53年刊)がある。この資料集には、毛利輝元の直状だけでなく、奉行人の書状や所領の打渡坪付まで入っている。

渋谷家文書を利用した研究成果には、この他に次のものがあり、解説を執筆するのに参考にさせていただいた。

「尾道の史的変遷とその水産関係事項」(羽原又吉、『社会経済史学』第5巻1号,1935)

「尾道の問屋と問屋座会所」(宮本又次、『経済史研究』第20巻3号,1938年,のち『近世商業経営の研究』の第3部第5章に再録,1949年)

「寛永期の尾道町宗門人別帳について」(脇坂昭夫、『広島大学文学部紀要』15号,1959年)

「日本における都市共同体の研究」(脇坂昭夫、『史学研究』73号,1959年)

- 「近世初期豪商の性格と問屋制の成立」(脇坂昭夫、『史学研究』85号,1962年)
- 「近世都市成立過程に関する一考察」(脇坂昭夫、『広島大学文学部紀要』第22巻2号,1963年)
- 「近世商品流通史の諸問題」(脇坂昭夫、『社会科研究』12号,1964年)
- 「近世初期における加子役の成立と市場構造」(隼田嘉彦・畑中誠治,福尾猛市郎編『内海産業と水運の史的研究』,1968年)
- 「近世初期における商品流通」(中山富広、『日本研究』第3号,1987年)
- (松井輝昭・西村 晃)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
1	毛利輝元書状 包「イ号」入, 捻封ウ八書あり, 『広島県史古代中世資料編IV』渋谷文書(渋谷辰男氏所蔵)1号	天正10.5.11	(毛利輝元 粟屋惣兵衛尉(就秀)殿	縦紙・1通
9	書翰類 拾三通 ノ号			卷子・1巻(13通)
9/4	○毛利氏奉行人書状 渋谷文書12号	天正16.3.2	二太右(二宮太郎右衛門尉)就辰 黒杭次郎右衛門尉殿・渋谷与右衛門尉殿	切紙・(1通)
9/5	○毛利氏奉行人連署書状 元折紙, 渋谷文書13号	(天正16)閏5.24	二太(二宮太郎右衛門尉)就辰・佐与三左(佐世与三左衛門尉)元嘉 渋谷与右衛門尉殿	折紙・(1通)
9/6	○預ケ申鍛之事(毛利氏奉行人鍛預ケ状) 渋谷文書14号	天正17.卯.15	二宮太郎右衛門尉(就辰) 渋谷与右衛門尉殿	堅切紙・(1通)
9/7	○毛利氏奉行人書状 渋谷文書15号	天正18.9.16	二太(二宮太郎右衛門尉)就辰 渋谷与右衛門尉殿	切紙・(1通)
9/8	○毛利氏奉行人連署書状 元折紙, 渋谷文書16号	(慶長元).11.8	少林寺周澄・山吉兵(山田吉兵衛)元宗 成立寺	折紙・(1通)
9/1	○毛利氏奉行人書状 元折紙, 渋谷文書9号	.2.18	佐与(佐世与左衛門尉)元嘉 渋谷与右衛門尉殿	折紙・(1通)
9/2	○毛利氏奉行人書状 渋谷文書10号	.3.2	佐与(佐世与左衛門尉)元嘉 渋谷与右衛門尉殿	切紙・(1通)
9/11	○木原元定書状 元折紙, 渋谷文書19号	.3.14	木次兵(木原次兵衛尉)元定 渋谷与右衛門尉殿	折紙・(1通)
9/13	○毛利氏奉行人書状 渋谷文書21号	.7.9	二太(二宮太郎右衛門尉)就辰 渋谷与右(渋谷与右衛門尉)	切紙・(1通)
9/9	○毛利氏奉行人書状 元折紙, 渋谷文書17号	.8.6	(張)思潮 渋谷与右衛門尉殿	折紙・(1通)
9/10	○毛利氏奉行人書状 元折紙, 渋谷文書18号	.8.17	二太右(二宮太郎右衛門尉)就辰 渋谷与右衛門尉殿	折紙・(1通)
9/3	○某書状 渋谷文書11号	.9.10	渋谷与右衛門尉殿	切紙・(1通)
9/12	○毛利氏奉行人連署書状 元折紙, 渋谷文書20号	.11.20	二太(二宮太郎右衛門尉)就辰・佐与(佐世与三左衛門尉)元嘉 渋谷与右衛門尉殿	折紙・(1通)
2	毛利輝元安堵状 包「ヨ」入り, 捻封ウ八書あり, 渋谷文書2号	天正18.卯.3	(毛利輝元) 二太(二宮太郎右衛門尉就辰)・佐与(佐世与三左衛門尉元嘉)	縦紙・1通
10	書翰類 六通 ク号			卷子・1巻(6通)
10/5	○毛利氏奉行人書状 元折紙, 渋谷文書26号	(文禄4).11.5	山吉兵(山田吉兵衛尉)元宗 渋谷与右衛門尉殿	折紙・(1通)
10/1	○毛利氏奉行人書状 元折紙, 渋谷文書22号	慶長2.卯.20	兵少(堅田兵部少輔)元慶 渋谷与右衛門尉殿	折紙・(1通)
10/4	○毛利氏奉行人書状 元折紙, 渋谷文書25号	.5.6	堅兵少(堅田兵部少輔)元慶 渋谷与右衛門尉殿	折紙・(1通)
10/3	○毛利氏奉行人書状 渋谷文書24号	.6.4	堅田上卿(元慶) 渋谷与右衛門尉殿	切紙・(1通)
10/6	○毛利氏奉行人書状 元折紙, 渋谷文書27号	.6.24	二太右(二宮太郎右衛門尉)就辰 渋谷与右衛門尉殿	折紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
10/2	○堅田元慶書状 元折紙, 渋谷文書 23 号	.10.15	堅兵少( 堅田兵部少輔)元慶 渋谷与右衛門殿	折紙・(1通)
11	御添状 七通 夕号			卷子・1巻(7通)
11/3	○細孫兵元可書状 元折紙, 渋谷文書 30 号	.2.27	細孫兵元可 渋谷与右衛門尉殿	折紙・(1通)
11/4	○児玉就英書状 元折紙, 渋谷文書 31 号	.6.3	児蔵太( 児玉大蔵大夫)就英 渋谷与右衛門尉殿	折紙・(1通)
11/7	○毛利氏奉行人連署書状 元折紙, 渋谷文書 34 号	.7.10	二太( 二宮太郎右衛門尉)就辰・ 佐与( 佐世与三左衛門尉元嘉) 渋谷与右( 渋谷与右衛門尉)	折紙・(1通)
11/1	○毛利氏奉行人連署書状 端裏捻封ウ八書あり, 渋谷文書 28 号	.9.15	( 粟屋宗兵衛尉)元秀・( 粟屋市 介)元連 渋谷与右衛門尉殿	竪紙・(1通)
11/2	○毛利氏奉行人連署書状 元折紙, 渋谷文書 29 号	.10.15	粟屋宗兵衛尉元秀・粟屋市介 元連・二宮太郎右衛門尉就辰 渋谷与右衛門尉殿	折紙・(1通)
11/5	○毛利氏奉行人連署書状 元折紙, 渋谷文書 32 号	.11.20	二宮太郎右衛門尉就辰・佐世与 三左衛門元嘉 渋谷与右衛門 尉殿	折紙・(1通)
11/6	○毛利氏奉行人書状 元折紙, 渋谷文書 33 号	.12.12	二太右( 二宮太郎右衛門尉)就辰 渋谷与右衛門殿	折紙・(1通)
12	高麗陣時分書物 拾二通 ヤ号			卷子・1巻(12通)
12/11	○請取申合薬大樽九つ( 某請取状) 渋谷文書 45 号	天正18.8.18	渋谷与三( 右カ)	竪切紙・(1通)
12/1	○渡申太閤様御城米之事( 佐甲隼人助渡 状) 渋谷文書 35 号	文禄5.2.20	佐甲隼人助 渋谷与右衛門尉殿	竪切紙・(1通)
12/5	○請取申御酒樽之事( 橋本弥右衛門請取 状) 渋谷文書 39 号	文禄2.3.10	橋本弥右衛門 しふ屋与衛門 尉様	竪切紙・(1通)
12/8	○請取申かうのもの樽之事( 橋本弥右 衛門請取状) 渋谷文書 42 号	文禄2.3.10	はしもと弥右( 衛門) しふ屋 与衛門尉様	竪切紙・(1通)
12/7	○請取申荷物之事( 相仁右請取状) 渋谷文書 41 号	文禄2. .18	相仁右 渋谷与右( 衛門)	竪切紙・(1通)
12/9	○請取申酒樽の事( 船頭孫兵衛請取状) 渋谷文書 43 号	文禄2. .11	船頭孫兵衛 渋谷与右衛門	竪切紙・(1通)
12/2	○渡申御飯米之事( 毛利氏所務役人連署 渡状) 渋谷文書 36 号	慶長2.卯.20	粟平右( 粟屋平右衛門)代稲田 対馬守・市田弥右衛門尉 渋谷 与右衛門尉殿	竪切紙・(1通)
12/4	○請取申京御米之事( 毛利氏所務役人連 署渡状) 渋谷文書 38 号	慶長2.9.24	粟平右( 粟屋平右衛門)代稲田 対馬守・市田弥右衛門尉 渋谷 与右衛門尉殿	竪切紙・(1通)
12/3	○渡申御扶持米之事( 毛利氏所務役人連 署渡状) 渋谷文書 37 号	慶長2.9.24	粟平右( 粟屋平右衛門)代稲田 対馬守・市田弥右衛門尉 渋谷 与右衛門尉殿	竪切紙・(1通)
12/6	○送申御たて板之事( 田中佐渡守送状) 渋谷文書 40 号	慶長5.9.13	田中佐渡守 蔵田与三兵衛殿	竪切紙・(1通)
12/10	○請取申石火矢小筒之事( 久藤某請取 状) 渋谷文書 44 号	慶長5.9.19	久藤 田中佐渡守殿	竪切紙・(1通)
12/12	○請取申立之板之事( かや五右衛門請取 状) 渋谷文書 46 号	慶長5.9.23	かや五右衛門 渋谷与右( 衛門) 様	竪切紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
3	毛利輝元書状 包「カ」入, 端裏捻封ウ八書あり, 渋谷文書3号	.2.6	(毛利)輝元 二太右(二宮太郎 右衛尉就辰)	縦紙・1通
7	毛利輝元書状 包「ニ」入, 端裏捻封ウ八書あり, 渋谷文書7号	.2.晦	(毛利)輝元 粟宗兵(粟屋宗兵 衛尉就秀)	縦紙・1通
5	毛利輝元書状 包「ヌ」入, 端裏捻封ウ八書あり, 渋谷文書5号	.8.6	(毛利)てる元 正法寺(春盛 カ)・思瀬(張元至)	縦紙・1通
6	毛利輝元書状 包「オ」入, 捻封ウ八書あり, 渋谷文書6号	.8.23	(毛利)輝元 粟掃(粟屋掃部亮 元真)	縦紙・1通
4	毛利輝元書状 包「口」入, 捻封ウ八書あり, 渋谷文書4号	.10.13	(毛利)輝元 二宮太郎右衛門 尉(就辰)殿	縦紙・1通
8	毛利輝元書状 包「ホ」入, 捻封ウ八書あり, 渋谷文書8号	.11.22	(毛利)輝元 粟屋宗兵衛尉(就 秀)殿	縦紙・1通

## 土地給付

23	備後国本地郡岩成庄打渡坪付事(備後 国品治郡岩成庄打渡坪付) 渋谷文書57号	天正13.7.27	二宮太郎右衛門尉(就辰)・児 玉左衛門尉 渋谷与右衛門尉 殿	縦継紙・1通
13	打渡之事(毛利氏奉行人連署打渡状) 端裏書・裏書あり, 渋谷文書47号	天正19.12.7	二宮太郎右衛門尉(就辰)・佐 世与三左衛門尉(元嘉)・内藤 与三右衛門尉(元栄)・林肥前 守(就長) 渋谷与右衛門尉殿 裏書 国司備後守(元武)・少 林寺(周澄首座)・山田吉兵衛 (元宗)	縦継紙・1通
14	備州沼隈郡神村打渡坪付之事(備後国 沼隈郡神村打渡坪付) 渋谷文書48号	天正19.12.27	福原孫兵衛尉(就理)・内藤与 三右門尉(元栄) 渋谷与右衛 門尉殿 裏書 国司備後守(元 武)・少林寺(周澄)・山田吉兵 衛(元宗)	縦継紙・1通
29	岩成検見帳	文禄4.10.8		縦冊・1冊
28	岩成検見帳	文禄5.9.25		縦冊・1冊
22	備後品治郡上岩成村打渡坪付之事(備 後国品治郡上岩成村打渡坪付) 渋谷文書56号	慶長5.2.7	羽仁美濃守(元胤カ)・蔵田東市 介(就貞)・三輪加賀守(元徳) 兼重(和泉守)元統 渋谷与右 衛門尉殿	縦継紙・1通
15	備後沼隈郡新庄打渡坪付之事(備後国 沼隈郡新庄村打渡坪付) 渋谷文書49号	慶長5.2.24	竹内平兵衛・三輪加賀守(元 徳)・蔵田東市介(就貞)・兼重 和泉守(元統) 渋谷与右衛門 尉殿	縦継紙・1通
21	備後深津郡下岩成ノ内(備後国深津郡下 岩成打渡坪付) 渋谷文書55号	慶長5.2.28	三輪加賀守(元徳)・蔵田東市 介(就貞)・兼重和泉守(元統) 渋谷与右衛門尉殿	縦継紙・1通
16	備後沼隈郡新庄打渡坪付之事(備後国 沼隈郡新庄村打渡坪付) 渋谷文書50号	慶長5.3.12	竹内平兵衛・三輪加賀守(元 徳)・蔵田東市介(就貞)・兼重 和泉守(元統) 渋谷与右衛門 尉殿	縦継紙・1通
20	備後沼隈郡郷分打渡坪付之事(備後国 沼隈郡郷分打渡坪付) 渋谷文書54号	慶長5.4.27	竹内平兵衛	縦継紙・1通
17	つる木田畠書抜帳(備後国沼隈郡新庄つ る木浦田畠書抜帳) 渋谷文書51号	慶長5.9.11		縦継紙・1通
18	つる木畠方定徳名寄帳 同屋敷錢共ニ (備後国沼隈郡新庄つる木畠方定徳分名寄 帳) 渋谷文書52号	慶長5.9.11		縦継紙・1通

番号	表題	年代	作成	形態・数量
19	信谷島方書抜帳(備後国沼隈郡信谷島方書抜帳) 渋谷文書 53号	慶長 5.9.11		縦継紙・1通

## 2 近世

### 年代記

25	歳志帖	享保10.正.吉	大西屋治兵衛(十一代)	縦冊・1冊
24	歳代記 天明3年5月写,天正以前は年代のみ,以降は若干の記述あり	(大化~寛政)	(十三代与兵衛良通)	縦冊・1冊
26	歳誌帳	(安永~寛政)	渋谷氏(十三代)	縦冊・1冊

### 町定

107	申定一札之事(月行事六十人誓約書)写し	元和 3.5.23	月行事六十人 老中五人	縦紙・1通
177	尾道町中定之事(月行事定)写し	元和 2.3.27	やけや調心他64名	縦継紙・1通
197	仕り上ル書物之事(宿借しニ付町法度請書写し) 端裏書あり	寛永13.12.29	年寄三人・与頭中・庄や 川崎多左衛門様・西川角左衛門様	縦紙・1通

### 土地

187	大西分御検地田畠之覚 端裏書あり			継・1継(3通)
187/1	○大西抱分田畠之書立			縦継紙・(1通)
187/2	○中西分田畠書立・中東田畠検地覚 裏文書「間打之覚」あり			縦紙・(1通)
187/3	○慶長拾年尾道田畠見付之覚	(慶長10)		縦継紙・(1通)

### 戸口(宗門改)

37	〔宗旨人別改書〕 写し	(寛永10.10.)		括・1括(28通)
37/1	○うつほや忠二郎 家内7人,端裏書あり			縦切紙・(1通)
37/2	○こたまや次郎左衛門 家内18人,端裏書あり			縦紙・(1通)
37/3	○てんもくや源兵衛 家内8人,端裏書あり			縦切紙・(1通)
37/4	○かなや惣右衛門 家内12人,端裏書あり			縦紙・(1通)
37/5	○こたまや庄三郎 家内19人,端裏書あり			縦継紙・(1通)
37/6	○いわしや与三右衛門 家内8人,端裏書あり			縦紙・(1通)
37/7	○しふーや清右衛門 家内13人,端裏書あり			縦紙・(1通)
37/8	○くるまや宗次郎 家内12人,端裏書あり			縦紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
37/9	○米や久四郎 家内 12 人, 端裏書あり			縦紙・(1通)
37/10	○覚 いたや庄九郎 家内 13 人, 端裏書あり			縦紙・(1通)
37/11	○こたまや庄五郎 家内 13 人, 端裏書あり			縦紙・(1通)
37/12	○あかや弥三右衛門 家内 10 人, 端裏書あり			縦切紙・(1通)
37/13	○いもしや喜右衛門 家内 11 人, 端裏書あり			縦切紙・(1通)
37/14	○大西抱 家内 35 人			縦継紙・(1通)
37/15	○車や勘右衛門 家内 10 人, 端裏書は「車や又三郎」			縦紙・(1通)
37/16	○あかや三右衛門 家内 23 人, 端裏書あり			縦紙・(1通)
37/17	○覚 うつほや庄二郎 家内 21 人, 端裏書あり	酉(寛永10)10.21		縦紙・(1通)
37/18	○覚 灰や二郎右衛門 家内 32 人, 端裏書あり			縦紙・(1通)
37/19	○うつほや助八 家内 16 人, 端裏書あり			縦紙・(1通)
37/20	○小物や里右衛門 家内 27 人, 端裏書あり			縦継紙・(1通)
37/21	○いつみや五郎右衛門 家内 5 人, 端裏書あり			縦切紙・(1通)
37/22	○山や甚三郎 家内 14 人, 端裏書あり			縦紙・(1通)
37/23	○さかいや正二郎 家内 19 人, 端裏書あり			縦紙・(1通)
37/24	○大坂や新左衛門 家内 12 人, 端裏書あり			縦紙・(1通)
37/25	○覚 広嶋や平四郎 家内 17 人	癸酉(寛永10)10.24	しふや市右衛門殿	折紙・(1通)
37/26	○山や惣左衛門 家内 11 人			縦紙・(1通)
37/27	○〔灰や分〕			継・(1継)
37/27-1	○覚 灰や院居 家内 18 人			縦紙
37/27-2	○灰や二郎右衛門かしや 家内 34 人	寛永10.10.24		縦紙
37/28	○〔人数惣計〕 人数合 3558 人			縦紙・(1通)
152	申上一札之事(とき路友・長右衛門親子 寺だんな二頼、切々さんけいニ付一札)	寛永10.9.15	天寧寺 石田作大夫様・川崎 多左衛門様	縦紙・1通
201	天寧寺書状(旦那書出し御帳請取申候、両 人がてん不参候間請付申事如何)	.11.21	天寧寺 しふや市右衛門さま	縦切紙・1枚
57	仕上ケ申一札之事(今度たいうす門徒御 改ニ付うさんなるものニ宿かし申間敷旨一 札)	寛永12.12	尾道慈観寺 嶋野八右衛紋 殿・川崎多左衛門殿・三浦儀 左衛門殿・道家与一郎殿	縦切紙・1通

番号	表題	年代	作成	形態・数量
156	覚(嶋原落城ニ付落人・きりしたん取締ニ付連判請書) 地部破損	寛永15.3.	市右衛門他58名	縦継紙・1通
120	〔人馬改雛形〕	(明暦2頃)		縦紙・1通
租税(年貢)				
181	慶五八幡領畠地子之儀壹匁分取納之相残分、慶六二月ニ米壹斗七升五合納相渡し申候	(慶長6)		継・1継8通
181/2	○慶五 年貢下札 渋谷与右衛門(田舎ヶ所) 破損あり	慶長6.2.12	上助右内下代	縦切紙・(1通)
181/1	○慶五御年貢下札 渋谷与右衛門(畠五ヶ所)	慶長6.2.19	上助右内下代	縦切紙・(1通)
181/3	○〔畠三ヶ所年貢下札〕 しふや与右衛門殿分 破損大	慶長6.2.23	神兵へ	縦切紙・(1通)
181/5	○〔慶五分年貢下札〕 渋谷与右衛門 破損あり	慶長6.7.29	助右内下代	縦切紙・(1通)
181/6	○うしとら分〔年貢下札〕 しふや与右衛門	慶長6.7.29	上助右内下代	縦切紙・(1通)
181/7	○〔慶五ノ分年貢下札〕 しふや与右衛門	慶長6.7.29	助右内下代	縦切紙・(1通)
181/8	○〔年貢下札〕 渋谷与右衛門 破損あり	慶長6.7.29	上助右内下代	縦切紙・(1通)
181/4	○〔年貢下札〕 しふや与右衛門 破損大,慶長五年分カ	(慶長6).8.8	西又	縦切紙・(1通)
84	慶長六年田畠年貢請取也 端裏書あり	(慶長6)		継・1継5通
84/1	○請取申麦之事 渋谷ノ与右衛門	慶長6.7.28	三肝煎	縦切紙・(1通)
84/2	○請取申麦之事 しふやノ与右衛門	慶長6.7.28	三肝煎	縦切紙・(1通)
84/3	○御年貢請取事 しふや与右衛門	慶長6.霜.21	三肝煎	切紙・(1通)
84/4	○請取申御年貢事 与右衛門	慶長6.12.3	三肝煎	切紙・(1通)
84/5	○請取申御年貢米之事 しふや与右衛門	慶長7.5.16	肝煎	縦切紙・(1通)
113	慶長六年屋地請取 ] 端裏書あり	(慶長7)		継・1継7通
113/1	○慶長六年分請取申地子銭之[ ] 地部破損	慶長7.4.28	[ ] 与一右衛門後家	縦切紙・(1通)
113/2	○慶長六年分請取申地子銭之事 地部破損	慶長7.4.28	久[ ] 中ひかし後家	縦切紙・(1通)
113/3	○慶長六年分請取申地子銭之事 地部破損	慶長7.4.28	久次 与右衛門殿	縦切紙・(1通)
113/4	○慶長六年分請取申地子銭之事	慶長7.4.28	久次 与右衛門殿	縦切紙・(1通)
113/5	○慶長六年分請取申地子銭之事	慶長7.4.28	久次 与右衛門殿	縦切紙・(1通)
113/6	○慶長六年分請取申地子銭之事	慶長7.4.28	久次 二郎五郎殿	縦切紙・(1通)
113/7	○慶長六年分請取申地子銭之事	慶長7.4.28	久次 与右衛門殿	縦切紙・(1通)
136	〔慶長八年向島年貢下札・請取継〕	(慶長8)		継・1継4通
136/1	○〔四郎左衛門宮ノわき年貢下札〕		(六左)	縦切紙・(1通)
136/3	○納向嶋麦請取 尾道太にし	慶長8.6.16	神宮寺	切紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
136/2	○むかいしま御年貢米下札之事 四郎左衛門	慶長 8.10.20	六左衛門	竪切紙・(1通)
136/4	○納向嶋御年貢米之事 四郎左衛門 付紙あり	慶長 8.11.11	神宮寺	切紙・(1通)
133	向嶋開御年貢之覚(慶八向嶋開皆済之覚) 端裏書あり	慶長 9.2.29		竪紙・1通
82	〔慶長拾年尾道村年貢下札・請取継〕	(慶長10)		継・1継(4通)
82/2	○尾道村御年貢請取事 二かう分与作調	慶長10.6.23	庄屋源左	切紙・(1通)
82/4	○尾道村御年貢請取之事 しふや与右衛門	慶長10.6.23	庄屋源左	切紙・(1通)
82/1	○尾道村下札 しふや与右衛門・与作・清水か迫 12月22日付け「皆済」(源兵衛印)裏書あり,天部破損	慶長10.12.22	庄や源兵衛	竪切紙・(1通)
82/3	○尾道村御年貢請取事 大西与作分 小次郎調也	慶長10.12.	庄や源兵衛	切紙・(1通)
99	慶拾壹年借や之覚(慶長拾壹借シヤノ地子覚) 端裏書あり	(慶長11)		竪紙・1通
160	[ ]付有之(慶長拾一年地子銭納入継) 端裏書あり	(慶長11)		継・1継(5通)
160/1	○地子納事 しふや与兵衛 端部破損	慶長11.12.8	たけ村善兵へ	竪切紙・(1通)
160/2	○地子せん納事 しふや与兵衛	慶長11.12.8	たけ村善兵へ	竪切紙・(1通)
160/3	○地子せん納事 しふや与兵衛	慶長11.12.8	たけ村善兵へ	竪切紙・(1通)
160/4	○地子せん納事 しふや与兵衛	慶長11.12.8	たけ村善兵へ	竪切紙・(1通)
160/5	○地子せん納事 しふや与兵衛抱	慶長11.12.8	竹村善兵へ	竪切紙・(1通)
129	慶長拾壹年畠方尾道分請取 端裏書あり	(慶長11)		継・1継(11通)
129/1	○〔皆済算用〕 天部破損			竪切紙・(1通)
129/2	○御年貢下札 しふや与右衛門	慶長11.11.15	太郎兵へ・源右衛門	切紙・(1通)
129/3	○〔しふや与右衛門分慶長十一年麦年貢請取二筆庄や太郎兵衛・源右衛門二相渡し申候二付覚書〕	(慶長11)		切紙・(1通)
129/8	○御年貢下札 しふや与右衛門 裏書あり	慶長11.11.20	太郎兵衛・源右衛門	切紙・(1通)
129/4	○納尾道御年貢米之事 しふや内せもん	慶長11.12.8	太郎兵衛・源右衛門	切紙・(1通)
129/9	○御年貢請取事 しふや弥七	慶長11.12.24	大郎兵衛・源右衛門	切紙・(1通)
129/5	○納尾道御年貢米之事 しふや与兵衛 裏書あり	慶長11.12.26	太郎兵衛・源右衛門	切紙・(1通)
129/10	○納尾道御年貢米之事 しふ屋分 弥七調 天部破損	慶長12.2.2	大郎兵衛・源右衛門	切紙・(1通)
129/11	○納尾道御年貢米之事 しふや分堂崎弥左衛門 天部・奥部破損	慶長12.2.10	太郎兵衛 [ ]	切紙・(1通)
129/6	○上米うけ取之事 しふや与兵へ	慶長12.6.16	太兵・源右	切紙・(1通)
129/7	○うけ取申御年貢米 しふや分 せもん調	.6.16	太兵・源右	切紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
115	未進仕御年貢之事(慶拾弍中西中東大西 年貢未進借状之ひかへ) 端裏書あり	慶長12.極.4	しふや与兵衛 竹井善兵衛殿	豎紙・1通
125	[慶長十三年尾道年貢麦請取継]	(慶長13)		継・1継(22通)
125/2	○尾道御年貢麦請取事 大西分 板御 堂せもん	慶長13.6.19	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/3	○尾道御年貢麦請取事 大西分 新町 ノ五郎右衛門調也	慶長13.6.19	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/4	○尾道御年貢麦請取事 中西分 助三 郎調	慶長13.6.19	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/1	○尾道麦御年貢請取事 しふや与兵衛	慶長13.8.8	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/5	○尾道麦御年貢請取事 しふや分 惣 三郎調	慶長13.8.8	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/13	○尾道麦御年貢請取事 大西分 中た んノ二郎三郎調	慶長13.8.9	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/8	○尾道麦御年貢請取事 中西分 かさ おかや与五郎調	慶長13.8.11	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/14	○御年貢請取事 しふや殿分 中たん 二郎三郎調	慶長13.11.15	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/11	○御年貢請取事 しふや分 板御堂せ もん調	慶長13.12.2	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/18	○御年貢請取事 しふや分 五郎左衛 門調・又八や調	慶長13.12.5・12 .25	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/6	○御年貢請取事 浄信分 大崎惣三郎 調	慶長13.12.11	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/7	○御年貢請取事 大西分 助三郎調	慶長13.12.11	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/21	○御年貢請取事 大西分 源六	慶長13.12.12	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/9	○御年貢請取事 浄信分 与五郎調	慶長13.12.16	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/10	○御年貢請取事 妙てい分 彦四郎三 人して調	慶長13.12.16	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/12	○御年貢請取事 しふや分銀にて調 板御堂せもん	慶長13.12.16	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/15	○御年貢請取事 妙てい分 源三郎調 「皆済」とあり	慶長13.12.22	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/16	○御年貢請取事 小路ノ二かう分 源 三郎調	慶長13.12.22	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/17	○御年貢請取事 浄信分 大郎右衛門 調	慶長13.12.24	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/19	○御年貢請取事 しふや分 馬おい新 左衛門調	慶長13.12.25	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/20	○御年貢請取事 大西分 新町五郎右 衛門調	慶長13.12.25	与左・五郎右	切紙・(1通)
125/22	○御年貢請取事 しふやノ与兵衛	慶長13.12.26	与左・五郎右	切紙・(1通)
102	慶拾三年尾道田畠算用事(年貢皆済)	戌(慶長15)5.18		豎紙・1通
148	申入一札之事(よしうら二郎左衛門御年 貢ニつまり申候に付子小三郎をしち物ニ入 申候一件) 天部破損	慶長17.霜.27	さいくわい寺・よしうら二郎 左衛門他5名 しふや与兵衛 殿	豎紙・1通
83	[慶長十八年年貢下札・請取継]	(慶長18)		継・1継(3通)
83/1	○[年貢下札] 吉祥坊・しふや殿	(慶長18)	与左	豎紙・(1通)
83/2	○当御年貢請取ノ事 しふや与兵へ	慶長18.7.3	与左	切紙・(1通)
83/3	○御年貢請取ノ事 しふや分 惣三郎 調	慶長18.11.24	与左	切紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
128	尾道島方皆済	(慶長20)		継・1綴(2通)
128/1	○御年貢米うけ取候事 しふや与兵衛	慶長20.12.24	庄や源兵へ	切紙・(1通)
128/2	○御年貢米うけ取候事 しふや与兵衛	慶長20.12.25	庄や源兵へ	切紙・(1通)
132	元三分板見堂島皆済 端裏書あり	(元和3)		継・1綴(5通)
132/3	○麦御年貢請取申事 しふや与兵へ	元和3.10.28	庄や源兵へ	切紙・(1通)
132/4	○御年貢米請取申事 しふや与兵へ	元和3.10.28	庄や源兵へ	切紙・(1通)
132/5	○御年貢米請取申事 しふや与兵へ	元和3.12.5	庄や源兵へ	切紙・(1通)
132/1	○尾道手作三分板見堂御年貢調申さん用 事(元和三年分皆済) 地部破損	(元和3)極.5		切紙・(1通)
132/2	○[なかへ板見堂分元和三年麦検見の うつし]			切紙・(1通)
116	請取申地子米事(元三尾道屋地子皆済) 端裏書あり	元和3.12.5	孫吉 しふや与兵へ殿	縦紙・1通
100	口米の銀可調分 天部破損	(福島時代)		縦紙・1通
221	地子取申買物帳之帳	寛永3.12.12		横長・1冊
123	窪町地子貫帳以上かかげ之覚(寛永三極 地子貫帳改書直已上覚也并本帳ト引合不足 付立有之) 端裏書あり,地部破損	寛永3.極.25		縦継紙・1通
119	寛永三年分尾道町地子目録 端裏に貼紙あり	寛永3.極.25		縦継紙・1通
52	尾道町地子之目録(寛永三年分ノ地子貫 申目録ノひかへ 地下目録) 端裏書あり	寛永3.12.28	しふや与兵衛・清右衛門・清 三・久作・久三	縦継紙・1通
90	尾道町地子之目録(寛永三年屋地子かつ き分ふもくるく) 端裏書あり,奥部破損	寛永3.12.28	しふや与兵衛・しふいちや清 右衛門・大入や清三・久作・ 久三	縦継紙・1通
51	地子銀貫覚(寛永三地子銀覚) 裏「銀子たけの覚」抹消	(寛永3)		縦継紙・1通
79	覚(寛永三御地子目録下かき) 端裏書あり	(寛永3)		縦継紙・1通
202	御年貢納所覚 寛永伍年霜月(たつ寛 五年加子銀地子御年貢一円相済申候覚) 奥に裏書あり	(寛永5.霜)		縦継紙・1枚
164	寛永五年屋地子覚	(寛永5)		縦紙・1通
170	屋地子之覚 地部破損	(寛永7.12.17)	(いつみや九右衛門とのへ)	縦紙・1通
223	寛永拾三年之地子貫日記 石ニ付五拾 六匁宛	寛永13.霜.吉	しふや市右衛門	横長・1冊
124	請取申銀子之事(西川角左衛門様御請取 町地子銀子を広嶋へ持参候賃銀飯米共)	寛永13.12.4	天ねん寺大もん源太郎他1名 しふや市右衛門殿与	縦切紙・1通
224	御地子銀貫取帳 石ニ付五拾五匁貫	寛永19.霜.22	しふや市右衛門組	横長・1冊
66	寛永拾九年分地子銀并直上り惣かつき 割符	(寛永20)7.3	いつみや九右衛門与 しふや 市右衛門殿与	縦切紙・1通
205	地子下札 天部破損	正保3.11.23	秋たや久七与 しふや市右衛 門殿与	縦切紙・1通
85	地子之覚 ひかへ(慶安四年八月廿一日 二お中へ出スひかへ 正保四年下札・慶安 元年下札 以上式つふそく) 寛永17~慶安3年分,付紙あり	(慶安4.8.21)		縦継紙・1通

番号	表題	年代	作成	形態・数量
214	〔しふや与地子下札 上り前ノ地子下札ちかい申、調仕候分〕	(慶安3.12.16)		豎切紙・1通
217	覚(御調郡尾道町慶安参年分地子御年貢米之内銀二而請取) 裏書あり	寅(慶安3).極.16	宮部小左衛門下代早川又右衛門 与頭しふや市右衛門殿 裏書 宮部小左衛門	豎切紙・1通
27	尾道町地子組中割帳	明暦2.12.10	しふや市右衛門与	豎冊・1冊
130	小林又兵衛支配 正徳五年分御調郡向嶋東入作御年貢下札 大にしや正兵衛	未(正徳5).10.	庄屋兵右衛門	切紙・1通
131	福原与一右衛門支配 正徳五年分御調郡後地村御年貢下札 大西屋庄兵衛	未(正徳5).10.	庄屋七郎右衛門	切紙・1通
127	地子下札(大西屋市右衛門他) 受取の裏書あり	亥.極.	組頭惣右衛門	切紙・1通
31	土堂町地子取帳			豎冊・1冊
149	屋地子之覚 しふや与 [ ] 端地部破損	巳.12.15		豎紙・1通
161	〔地子請取もくるく〕 端裏書あり			豎紙・1通
租税(おろし米)				
65	請取申御下米之銀子之事	慶長17.11.17	泉や惣左衛門・秋田や藤左衛門・かさおかや正左衛門・きと助兵へ・児玉惣右衛門 しふや与兵衛殿	豎切紙・1通
53	御おろし米之さん用(写) 奥地部破損	元和2.2.22	幻松・藤左・正左・昶 [ ] 惣 [ ]	豎紙・1通
192	請取申御米之事(元和弐年御下米之内請取) 天部破損	元和2.7.21	いつみや幻松他7名 美作様御内ほうり五郎左衛門殿	豎紙・1通
189	〔御おろし米請取書綴〕			綴・1綴(8通)
189/4	○請取申御米事(下総様御米こたま正左衛門ほうけとり)	元和2.6.25	市右衛門 しふや与兵衛様	豎切紙・(1通)
189/6	○請取申米之事	元和2.6.27	こやノ清十郎 市原ノ惣兵衛との	豎切紙・(1通)
189/5	○うけ取申御米の事	元和2.7.1	こんや助九郎他4名 しふや与兵衛殿	豎紙・(1通)
189/8	○覚(梶田出雲様おのミち町中へ御おろし米預り、かさおかや正左衛門等へ払申候算用)	元和2.9.3	いわしや次郎右衛門 与兵衛殿・助四郎殿・清三郎殿・久三郎殿・助九郎殿	豎紙・(1通)
189/2	○うけ取申御下米事(しほうさまたいくわん所市原村)	元和2.9.5	大はち善右衛門・かなや惣右衛門・とう三郎右衛門 しふや与兵衛殿	豎切紙・(1通)
189/3	○うけとり申御下米之事(下総様御代官所市原村)	元和2.9.5	ミせノ与右衛門 しふ屋与右衛門殿	豎切紙・(1通)
189/1	○請取申米の事(下総様御米)	元和2.9.6	いたや助四郎・かうじ屋与三右衛門 しふや与兵衛殿	豎切紙・(1通)
189/7	○わうや米請取申事			豎紙・(1通)
159	御下米請取り御公儀へ仕上申ひかへ梶田出雲様御下米うけ取りのひかへ			継・1継(5通)
159/1	○請取申御米之事(元和弐年分御下米)	元和2.9.3	こたまや惣右衛門他6名 梶田出雲様	豎紙・(1通)
159/2	○請取申御米の事(元和弐年分御おろし米)	元和2.9.6	おのミちとしほういつみや幻松他5名 松田下総様	豎切紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
159/3	○ 請取申御米之事(元和式年分御おろし米、二通写)	元和 2.9.6	おのミちとし <sup>ふ</sup> いつミや幻松 他 6 名 松田下総様	縦紙・(1通)
159/4	○ 請取申御米之事(元和式年分御おろし米、二通写)	元和 2.9.16	おのミちとし <sup>ふ</sup> いつミや幻松 他 4 名 間嶋美作守様	縦紙・(1通)
159/5	○ 請取申御米之事(元和式年分御おろし米)	元和 2.9.24	おのミちとし <sup>ふ</sup> いつミやけん せう他 9 名 広瀬喜左衛門殿	縦紙・(1通)
48	[米御渡に付切紙継]	(元和 3.3)		継・1継(6通)
48/1	○ [かめ川清右衛門へ可有御渡米代銀調候事] 地部破損	元和 3.3.1	かな山仁右衛門・こんや助右 他 1 名 しふや与兵衛殿	縦切紙・(1通)
48/2	○ [すみや新右衛門へ可有御渡米代銀すミ候事]	元和 3.3.4	かな山仁右衛門 しふや与兵衛殿	縦切紙・(1通)
48/3	○ [せんたう新兵衛ニ米御渡し可有之事]	元和 3.3.4	金山仁右衛門 与三様	縦切紙・(1通)
48/4	○ [し部一や与吉ニ御渡し可被成米之事]	(元和 3).3.4	仁右衛門 与兵衛殿	縦切紙・(1通)
48/5	○ [里右衛門へ御渡し可被成米之事]	(元和 3).3.4	仁右衛門 与兵衛殿	縦切紙・(1通)
48/6	○ [かなや宗右衛門・かなや弥三郎へ御渡し可被成米之事] 奥地部破損	(元和 3).3.4	仁右衛門 与兵衛殿	縦切紙・(1通)
39	御おろし米払之事	元和 3.3.9	嶋や仁右衛門他 3 名 しふや 与兵衛殿・ひろ嶋や源右衛門殿	縦紙・1通
95	尾道御下米未進之事	元和 3.6.14		縦紙・1通
111	あつかり申御米之事 ひかへ(当年之御おろし米) 端裏書あり	元和 3.9.6	当月行司与兵衛・同いたや彦 右衛門 坂田宇右衛門様	縦紙・1通
96	[当年おろし米請取] 裏書あり	巳(元和 3).9.7		縦紙・1通
73	御下米請遣方之事	(福島時代)		縦紙・1通
135	請取申御下米之事(尾道町中御下米坂口清兵衛様御代官所あやめ村より出申御米)	寛永 2.12.16	当月行司与兵衛・助九郎・清三郎・久作・久三 あやめ村庄屋市兵衛殿	縦紙・1通
163	請取申御米之事(坂清兵衛様御代官所因嶋 <sup>方</sup> 尾道町中御下米として)	寛永 2.12.16	しふや与兵衛他 4 名 むんの嶋惣兵衛殿他 2 名	縦紙・1通
43	寛永式年御下米請遣方一紙之事	寛永 2.極.晦	しふや与兵衛・大入や清三郎・なんふや久三郎・しふいちや助九郎・いたや久作	縦継紙・1通
33	川崎多左衛門様 <sup>方</sup> 御米請取払帳	寛永13.12.5		縦冊・1冊
租税(加子役)				
55	[慶十九霜十五日より同廿年二月四日迄の水夫のさん用] 端部破損	(慶長19.11.15~同20.2.4)		縦紙・1通
122	室屋又八郎殿内 二郎五郎加子さん用事(慶廿年卯月に備後様御供加子二郎五郎出覚) 端裏書あり, 地部破損	(慶長20.4.)		縦継紙・1通
186	内の小三郎か子さん用之事(慶廿年卯月に備後様御供加子小三郎出覚)・むかい嶋与作事小三郎かわりに上せ申事 端裏書あり	(慶長20.4.同20.6)		縦継紙・1通
45	慶廿年卯月 <sup>方</sup> 源右とより相加子目録 端裏書あり	(慶長20.4.)		継・1継(2通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態・数量
45/1	○源右とより相加子也 いぬにつまれ 加子さん用事	(慶長20.4.26)		縦切紙・(1通)
45/2	○われ石源右とより合かこ也 かゝや 与四郎加子算用事	慶長20.12.23	与四郎 しふや与兵へ殿・わ れ石源へもん殿	縦継紙・(1通)
184	請取り申うらかこノ事(二通写)	元和3.9.14	せのを与右衛門 おのミち庄 や殿ノまき二郎左衛門 おの ミち庄や殿	縦紙・1通
112	うけ取申はんまいノ事(くわんにんくた りのとき御使のせ罷上り候かこはんまい)	元和3.9.14	善五郎・又市・又蔵 しふや 与兵衛殿他4名	縦紙・1通
147	かこノ請取ノ写シ(かこのわり 元和三 年九月十八日付くほ小右衛門方ひろせ喜左 衛門殿宛)	元和3.9.18	平右衛門 しふや与兵衛様	縦紙・1通
54	[くわん人のこぎ舟かこ請取写] 3通分の写し	元和3.9.21		縦紙・1通
54/1	○うけ取申うらかこ之事	元和3.9.21	おぜき右衛門大郎内船頭孫右 衛門 おの道にて平右衛門殿	
54/2	○請取申浦かこの事	巳(元和3)9.21	いづも(梶田出雲)内源右衛門 おの道庄や殿	
54/3	○請取申うらかこの事	元和3.9.21	(本庄)与大郎内小七 おのみ ち庄や殿	
69	請取申御米之事 ひかへ(元和三年分御 おろし米)	元和3.9.	幻松他9名 松田下総守様	縦切紙・1通
110	借用申丁銀子之事(植木小右衛門方被仰 付浦役之かつら銀子) 破損あり	元和7.7.29	秋田や藤左衛門他9名 米屋 二郎兵衛殿	縦紙・1通
210	うけ取申銀子之事(江戸大廻ニ参候九人 加子之内吉二郎かわりニ参候)	元和7.8.16	加子之又八留守処たかみや助 八 しぶや与兵衛様	縦切紙・1通
200	庄や五郎七へ渡し申広嶋とまかつらく ノうつし(元和九年十一月十一日二通 写) 2通分写し	元和7.8.22・ 元和7.8.14	中川加兵へ 尾道浦庄屋殿ノ 中河 ] 尾道浦庄屋殿	縦切紙・1枚
117	借用申丁銀子之事(去年当浦役かつら之 銀御さいそくに付借用申候内今日相調申残 未進)	元和8.10.朔	秋田や藤左衛門他9名 米や 二郎兵へ殿	縦紙・1通
150	請取申銀子之事(元和七年七月廿九日ニ 尾道浦役かつらの銀御調之時御用ニ立申候 本利共)	元和9.6.25	米屋二郎兵衛 しぶや与兵衛 殿・四分一屋助九郎殿・大入 や清三郎殿・なんぶや久三郎 殿・いたや久作殿	縦紙・1通
103	請取申かつらの事(元和七年中川加兵衛 かつらくノ請取両証文と取かへ本証文)	元和9.霜.12	嶋や助九郎・与四郎・五郎右 衛門・助二郎・庄や五郎右衛 門 しぶや与兵衛殿組	縦紙・1通
153	長江町西町加子銀貫之覚(并新町分、し ぶや与兵へくミ) 端裏書あり	寛永元.12.22		切継紙・1通
209	請取申銀子之事(寛永三年分御加子銀四 分一貫ノ内外ニ判質)	寛永4.12.12	米や二郎兵衛組 しふや与兵 衛殿組	縦切紙・1通
173	与兵へ抱分かこ銀出覚 抱ノ銀へ出ス 覚 端部破損	寛永5.10.		縦切紙・1通
46	庚午加子銀之覚	(寛永7)		縦切紙・1通
220	加子拾六人ちん銀高百目ニ付拾五匁 取帳	寛永10.6.17		横長・1冊
168	請取申銀子之事 ひかへ(寛永九年分尾 道町加子役銀之内)	寛永10.9.20	川崎多左衛門 尾道町庄左衛 門殿・同庄右衛門殿・同彦右 衛門殿・同庄や五郎右衛門殿	縦切紙・1通

番号	表題	年代	作成	形態・数量
227	おないとまかつらくゞの代銀貫取帳 高百目ニ付式拾式刃七厘貫	寛永10.9.吉		横長・1冊
225	御運上加子三拾三人之内五人出申ちん 銀貫日記	寛永10.無神.5		横長・1冊
169	覚(運上銀・こもつゞミ等御請)	寛永10.10.7	みつき市村孫兵へ かさおか や庄左衛門殿・町庄や五郎右 衛門殿	縦切紙・1通
134	覚(苦・葛・くゞノ代銀之内請取) 奥地部破損	寛永10.10.8	[ ] 御年寄衆様・当月行司 しふや市右衛門殿	縦切紙・1通
167	覚(芋ない・とま・葛・くゞ代銀算用)	寛永10.10.9	当番しふや市右衛門 かさお かや少左衛門様・いつミや庄 右衛門様	縦紙・1通
206	請取銀子之事(寛永九年分加子役銀子)	寛永10.10.12	川崎源八 御調郡尾道町年寄 笠岡や正左衛門殿・泉屋庄右 衛門殿	縦切紙・1通
72	覚(寛永九年分尾道町加子銀之内請取) 地部破損	寛永10.10.12	石田作大夫 笠岡や庄左衛門 殿・泉や彦右衛門殿・同庄右 衛門殿	縦切紙・1通
144	覚(寛永九年分之加子銀広嶋まで判ニかけ 申候銀子算用) 端天部破損	西(寛永10).10.12	かさ岡や少左衛門 しふや市 右衛門与	縦切紙・1通
71	かり申銀子之事(喜利庄大夫殿加子飯米 ノ代銀) 天地部破損	寛永10.霜.9	庄や五郎右衛門 しふや市右 衛門殿	縦切紙・1通
157	請取申銀子之事(御加子銀広嶋へ持参候 包判銀御代官様へ上ケ、御切手取戻り) 天地部破損	寛永10.霜.16	又左衛門子権平・御所町助市 しふや市右衛門殿	縦切紙・1通
162	請取申御米之事 ひかへ(御上洛御供加 子百八拾五人飯米内)	寛永11.10.21	笠岡や少左衛門・泉や庄右衛 門・同彦右衛門・当番しふや 市右衛門 川崎多左衛門様	縦紙・1通
172	請取申御米之事 ひかへ(御上洛御供加 子百八拾五人之飯米之内)	寛永11.10.21	笠岡や少左衛門・いつミや庄 右衛門・同彦右衛門・当番し ふや市右衛門 石田作大夫様	縦紙・1通
231	石州銀山へ御座候江戸御上使 様御上 り送り加子舟賃銀	寛永11.10.23	しふや市右衛門与	横長・1冊
87	請取申銀子之事(江戸加子拾式人地下方 渡ス切米之代銀)	寛永11.12.11	かめ川喜右衛門与 しふや市 右衛門尉殿与	縦切紙・1通
196	うけ取申丁銀子之事(苦かつらくゞの代 銀)	寛永13.2.16	いつミや市右衛門与 しふや 市右衛門殿与	縦切紙・1通
61	覚(しふや市右衛門与江戸加子四拾壱人余 へ御公儀御割符前浦役米之代銀ニ渡し申ニ 付銀御出し) 裏書あり	寛永13.2.23	いつミや市右衛門与 しふや 市右衛門殿	縦切紙・1通
67	大坂加子三拾人之内高四百[ ](賃銀 算用) 破損	寛永13.6.28	広嶋や源左衛門 しふや市右 衛門殿与	縦切紙・1通
194	覚(とまかつらくゞ代銀子わり) 破損あり	寛永13.9.23	当月行司うつほや庄二郎 し ふや市右衛門殿与	縦切紙・1通
70	請取申銀子之事(苦かつらくゞ代銀之内) 地部破損	寛永13.9.26	うつほや庄 [ ] しふや市右 衛門殿与	縦切紙・1通
211	加子百四拾三人之内(賃銀算用) 天部破損	寛永13.10.2	大紺や善左衛門与 しふや市 右衛門殿与	縦切紙・1通
89	請取とまかつら銀子事	寛永13.12.29	きと平左衛門 しふや市右衛 門殿・庄や五郎右衛門殿	縦切紙・1通

番号	表題	年代	作成	形態・数量
222	寛永拾四年正月二出申官人加子炭ル 飯米ノ給貴・同九月廿九日二出申大坂 加子三拾人ノ内三人与出申貴・同十一 月十五日二広嶋へ出申五十人加子与 五人出申貴			横長・1冊
232	因嶋水舟并加子賃飯米渡帳	寛永14.12.13		横長・1冊
191	寛永拾五年霜月方同拾五年迄嶋原加子 仕出貴之覚 裏に抹消文書あり			縦紙・1通
74	嶋原加子組ノ中算用覚 裏に抹消文書あり			縦紙・1通
58	御迎加子百拾四人之算用詰之覚	寛永17.8.13	広嶋や源左衛門 しふや市右 衛門尉殿組中	縦切紙・1通
146	井上筑後様御迎加子百拾人之割符	寛永17.10.21	灰や次郎右衛門 しふや市右 衛門殿与	縦切紙・1通
183	当三月二出ル御供加子式百五人算用并 扶持方江越割(しふや市右衛門与分) 付箋あり	寛永18.9.吉	広嶋や源左衛門	縦継紙・1通
207	五拾人加子之覚	寛永19.5.2	かめ川喜右衛門組 しふや市 右衛門殿与	縦切紙・1通
68	殿様御迎加子式百人之割符 付箋あり	寛永21.5.4	あがや弥三右衛門与 しふや 市右衛門殿与	縦切紙・1通
98	殿様御迎加子式百人内前後算用状 奥の地部破損,付紙(破損)あり	寛永21.6.25	かめ川喜右衛門 ] しふや 市右衛門殿与	縦紙・1通
75	正保元年十一月広嶋屋源右衛門番二出 ル御同様送加子六十人之算用詰 端・天部破損	正保2.3.13	大紺や善左衛門与 しふや市 右衛門殿与	縦紙・1通
195	御上使平野清左衛門様大坂方豊後へ送 加子五拾五[ ] 地部破損	正保3.11.12	大入や清 ] しふや市右衛 門殿与	縦切紙・1通
76	御供加子百九拾人出ル時之覚	正保4.2.22	灰や二郎右衛門与 しふや市 右衛門殿与	縦切紙・1通
185	正保四年御供か子百九拾人并御運上銀 室迄送か子拾壹人正保三年霜月二出ル 豊後へ御通之御上使送か子四拾六人之 算用詰	正保4.卯.8	大紺や善左衛門 しふや市右 衛門殿与	縦紙・1通
59	[ ]人被遣御銀子船加子四十六人前後 算用[ ] 天地部破損,付紙あり	正保4.11.27	秋たや久七	縦切紙・1通
176	権現様御送り之 門衆送りかこ 慶安 元年 天・地部破損	(慶安元)7.		縦紙・1通
193	請取申銀子之事(殿様御上洛加子百六拾 五人之割符銀)	慶安2.2.25	こたまや庄三郎与 しふや市 右衛門殿組	縦切紙・1通
62	御蔵米大坂へ積上ル四十四人か子前後 さん用	慶安3.10.21	かめ川喜右衛門与 しふや市 右衛門殿与	縦切紙・1通
47	慶安三年霜月二竹原村御蔵米積上ル加 子廿三人・同四年七月二出ル御船すり たて加子三十人さん用詰 裏書あり	慶安4.10.25	当番かめ川喜右衛門組 しふ や市右衛門殿与	縦切紙・1通
97	[とまかつらおない銀請払算用] 端部欠落,付紙あり	(承応3)10.7		縦紙・1通
179	[遊行上人送り加子算用書継]			継・1継(4通)
179/4	○遊行上人尾道方広嶋迄送り加子式拾 四人算用詰下札 天部破損,あかや三右衛門与理右衛門の「請取済」の裏書あり	明暦2.9.19	あかや三右衛門与 渋谷市右 衛門与	縦継紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
179/3	○かゝす亭ない六拾三貫百目賃銀算用 詰下札	明暦2.10.6	当番しふや市右衛門組	縦切紙・(1通)
179/1	○覚(遊行上人尾道方広島・小倉迄送加子 飯米算用)	明暦2.10.17	当番しふや市右衛門与	縦切紙・(1通)
179/2	○遊行上人広島方小倉迄送り加子五拾 人之内算用詰下札	明暦2.10.17	当番しふや市右衛門与	縦切紙・(1通)
140	明暦二年分越おない加子飯米貫払覚 十月番	(明暦2)		縦継紙・1通
208	しふや市右衛門殿与加子飯 ] 地部破損	子.正.30	かめ川[ ] しふや市右衛門 殿与	縦切紙・1通
64	御供加子貳百人之割符 端地部破損	未.3.10	しふや市右衛門与 広島や源 左衛門殿与	縦切紙・1通
56	御局様大坂迄送加子六十人之仕出シ	申(寛永21ヵ)2. 20	広島や源左衛門与 しふや市 右衛門殿与	縦切紙・1通
212	六十人か子ノ覚 しふや市右衛門殿組	申.12.28		縦切紙・1通
230	西六月十七日拾六人加子ニ後に三匁ツ 、ちん銀百目ニ付三匁八分貫取帳・西 八月十三日加子二人大坂へ御侍衆送り ちん銀百目ニ付壹匁七分貫取帳 但十 七人内 横長断簡か、綴じ欠、綴穴なし、折紙「正保四年亥二月廿八日出ル御上洛加子組拾九人出飯米ニ斗五升ツ 、お中方渡ル高百目ニ付卅め貫」他とも一括			括・1括
182	五月朔日ニ出ル石州加子四十人之算 用・五月兩度ニ出ル局様御迎加子百八 拾壹人之算用	戌.7.23	かめ川喜右衛門組 しふや市 右衛門殿与	縦紙・1通
139	いつみや庄右衛門・庄や五郎右衛門書 状(加子御急用ニ御座候ニ付)	.12.5	いつみや庄右衛門・庄や五郎 右衛門 かさおかや少左衛門 様・いつみや彦右衛門様・し ふや市右衛門様	折紙・1通
63	きと平左衛門書状(去年十二月貫様ニて とまかつらノ代四百め余うけ取申候一件)	. .21	しふや市右衛門様	縦紙・1通
49	又五郎水夫さん用事			縦紙・1通
151	[長晟様江戸へ御上り之時町中の方御供 加子大坂迄罷上り候内広島や源右衛門 他払銭之賃銀子目録断簡] 縦冊断簡			縦紙・1枚
141	加子算用残り江かつら亭ない請銀覚 奥部欠			縦紙・1通
126	大坂ニ而加子かり銀ノさん用 賃銀ノ 内ニ而御引可有候(しふや市右衛門取か へ)			切紙・1通
<b>町財政</b>				
77	おのみち町算用之目録 地部破損	元和2.2.19	おの道としふけんせう・藤左 衛門・正左衛門・助兵へ・宗 右衛門・きもいり善右衛門・ 五郎右衛門・清左衛門・孫吉	縦継紙・1通
32	銀子請遣方日記	元和2.9.29	しふや与兵衛・いたや助九郎・ しふーや助九郎・なんふや久 三郎・大入屋清三郎	縦冊・1冊
178	町打貫申目録	元和3.7.24	与兵へ他4名 宗味老・次右 衛門殿・又三郎殿・源へもん 殿・正三郎殿	縦継紙・1通
38	元和三年九月ニ巻ヶ月ノ月行司請遣方 目録之事	元和3.9.晦	与兵衛・彦右衛門・久三郎・ せい三郎・助九郎	縦継紙・1通

番号	表題	年代	作成	形態・数量
60	銀子入日記	巳(元和3).9.晦	与兵へ・彦右衛門・久三郎・清三郎・助九郎	縦紙・1通
158	[ 元和三年九月番月行事請取 ]			継・1継(11通)
158/5	○請取申銀子之事(れうし壺束売申候代)	元和3.9.3	ミセノ藤右衛門 しぶや与兵衛殿・いたや彦右衛門殿・大にうや清三郎殿・なんぶや久三郎殿・しふーや助九郎殿	縦切紙・(1通)
158/9	○篠原六左書状(うわ儀の銀子岸本半左衛門取替申候分請取候時此切り之戻し可給候段)	元和3.9.16	篠原六左 おの道月行司衆	縦切紙・(1通)
158/1	○[ かこ衆ニ酒ヲ進候代銀等請取 ] 端部破損	元和3.9.21	下きもいり喜助・惣五郎 与兵へ殿他4名	縦紙・(1通)
158/2	○請取り申銀子之事(くわん人下り之時こぎ舟ノかこ四拾壺人尾道方三原・ともへ参候飯米・木せん共)	元和3.9.21	下きもいり喜助 与兵へ殿他4名	縦切紙・(1通)
158/3	○請取申銀子之事(くわん人下り之時うしまどへ御飛脚舟にて参候ちん) 奥地部破損	元和3.9.22	舟主八茶や[ ] しぶや与兵衛殿他4名	縦紙・(1通)
158/3-1	○勝市書状(とうぢん下向之時・かまかりへひきやくニ参時) 3の裏文書	(元和3).9.21	勝市 きもいり平右衛門殿	折紙・(1通)
158/4	○請取申銀子之事(くわん人下り之時御飛脚舟ニ玄蕃様内孫市のせ候やといかちん飯米) 地部破損	元和3.9.22	茶や助二郎舟ノかこ御所の又市他2名 しぶや与兵衛殿他4名	縦紙・(1通)
158/6	○請取申銀子之事(お中の用万ノ日記かミ、中ノれうし壺束ノ代) 地部破損	元和3.9.28	あるし彌[ ] しぶや与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
158/7	○請取申銀子之事(お中 <sup>方</sup> 御合力銀今月分) 地部破損	元和3.9.晦分)	庄や平右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
158/8	○請取申銀子之事(お中 <sup>方</sup> 御合力銀今月分)	元和3.9.晦分)	下きもいり喜助他2名 しぶや与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
158/11	○請取申銀子之事(九月之払銭) 地部破損	元和3.10.朔	山村久左衛門・田嶋や四郎右衛門・事成や善右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
158/10	○請取申銀子之事(九月之払残、元和式年分御下米之銀子未進之内) 地部破損	元和3.10.14	きど助兵衛・きもいり平右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	縦紙・(1通)
204	[ 元和五年三月番月行事請取 ]			継・1継(42通)
204/1	○[ 不明 ] 破損大	元[ ]	助九郎殿他	縦切紙・(1通)
204/19	○請取申銀子之事(安藤対馬守様広嶋 <sup>方</sup> 御上りかこ五拾六人ちん銀) 天部破損	元和5.8.3	くほ町かこ与市 与兵衛殿・彦右衛門殿・助九郎殿・清三郎殿・久三郎殿	縦切紙・(1通)
204/2	○請取申銀子之事(但馬様御下向ニ付御迎年寄衆御出候時御樽のおりニ被成候銀子) 端地部破損	元和5.8.6	たくミ彦二郎 与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
204/3	○うけ取申銀子之事(但馬守様御下向之時御迎二年寄船中ノ薪八束御かい候銀子) 天地部破損	元和5.8.6	こたまや内与市 与兵へ殿他4名	縦切紙・(1通)
204/25	○うけ取申銀子之事(但馬守様へ御礼ニ寄衆ひろ嶋へ御下り之時御上 <sup>ケ</sup> 御樽の釜ニ被成候するめ代銀)	元和5.8.6	こたまや内与市 与兵へ殿他4名	縦切紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
204/4	○うけ取申銀子之事(但馬守様御迎二年寄衆御出候時いと崎・あぶとまで参り、戻り申候舟かこちん飯米)	元和5.8.7	荒神堂ノ惣七 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/33	○請取候て払申銀子之事(但馬守様御下向之時御迎二年寄衆御出候船中の賄代)	元和5.8.7	笠岡や内与一郎 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/6	○請取申銀の事(河合半左衛門殿へ地下方すきやのたしぐ上ケ申シ、其代物ヲうけとりこともへ参候代) 地部破損	元和5.8.9	源吉 しぶや与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/18	○請取申銀子之事(五味金右衛門殿御上り之時舟三艘ともへ参候ちん飯米)	元和5.8.9	御所の善五郎他2名 与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
204/5	○請取申銀子之事(小舟にてともへ参候かこちん飯米) 天地部破損	元和5.8.10	渡しばノ三郎左衛門 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/7	○うけ取申銀子之事(但馬守様御内古川右衛門二郎殿ともへ御上り之時大雨ふり、つね石方戻り申候銀子) 地部破損	元和5.8.10	たくミ三郎右衛門 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/8	○請取申銀子之事(古川右衛門二郎殿ともへ御出候時馬三疋大雨ふり、戻り申候銀子) 地部破損	元和5.8.11	七十や善二郎・すミヤ孫三・たくミや又三郎 与兵へ殿他4名	豎紙・(1通)
204/9	○うけ取申候銀子之事(但馬守様御内兩人方ともへ御飛脚ニ被遣候時ちん銀子) 地部破損	元和5.8.11	長江ノだまり三郎四郎 与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
204/10	○うけ取申候銀子之事(但馬守様御内兩人方神辺へ御出候時馬四疋代銀) 地部破損	元和5.8.11	かなや惣右衛門・同孫市・下びら太郎四郎・にだし与一郎 与兵へ殿他4名	豎紙・(1通)
204/11	○うけ取申銀子之事(但馬守様御内兩人神辺へ御出候時人足五人荷物送りちん飯米) 天部破損	(元和5).8.11	長江ノ新三郎・同小二郎・同弥助・同源二郎・同いぼこ 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/12	○請取申銀子之事(但馬守様御内兩人御出候時御宿にて御たかせ候新式拾わ代) 天部破損	元和5.8.11	こたまや内与市 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/20	○請取申銀子之事(れうし壺束六帖売申銀)	元和5.8.11	ミせ藤右衛門 与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
204/13	○うけ取申銀子之事(但馬守様御内兩人神辺・府中・しなミへ参戻り候馬三疋ちん) 天部破損	元和5.8.13	かなや善四郎・七十や善二郎 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/21	○つめ申酒之事(但馬守様へ御礼ニ広嶋へ年寄衆御下り之時酒つめ申候銀子請取)	元和5.8.13	秋田や内善二郎 与兵衛殿他4名	豎紙・(1通)
204/22	○つめ申酒之事(但馬守様へ御礼ニ広嶋へ年寄衆御下り之時酒つめ申候銀子請取) 天部破損	元和5.8.13	笠岡や内善四郎 与兵衛殿他4名	豎紙・(1通)
204/23	○つめ申酒之事(但馬守様へ御礼ニ広嶋へ年寄衆御下り之時酒つめ申候銀子請取)	元和5.8.13	こたまや内与市 与兵衛殿他4名	豎紙・(1通)
204/24	○請取申銀子之事(但馬守様へ御礼ニ広嶋へ年寄衆御下り之時樽ゆい申てうり申候銀子) 天部破損	元和5.8.13	かない小路源四郎・同三郎五郎 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/28	○請取申銀子之事(但馬守様へ御礼ニひろ嶋へとし方衆御下り之時船中飯米かまぎ代)	元和5.8.13	ミせノ新左衛門 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
204/29	○うけ取申銀子之事(年寄衆ひろ嶋へ御下り之時船中のまかないに御かい候干はむ代銀子)	元和5.8.13	薬師堂町多嶋や二郎市 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/31	○うけ取申銀子之事(とし方衆広嶋へ御下り之時船中ノ薪ニ御かい候銀子) 付箋あり	元和5.8.13	こたまや内与市 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/34	○請取申銀子之事(とも・笠岡へ御飛脚ニ参候ちん飯米) 天部破損	元和5.8.15	御所上町与十郎 与兵へ殿他4名	豎紙・(1通)
204/35	○請取申銀子之事(小舟にて三原へ参候ちん飯米)	元和5.8.16	わたしばノ三郎左衛門 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/14	○うけ取申銀子之事(但馬守様御内三人ひろ嶋へ御戻り之時御やど三所にての薪、船中の薪代) 天部破損	元和5.8.17	こたまや内与市 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/15	○請取候て払申銀子之事(但馬様内三人御内衆へやどにて渡し申ミソ・米・塩等代) 端天・奥地部破損	元和5.8.17	下きもいり喜助・同与市 与兵へ殿他4名	豎紙・(1通)
204/16	○うけとり申銀子之事(但馬様御内三人ひろしまへ御戻り之時御やとい式人のちん)	元和5.8.17	土堂町ノ与四郎・長江ノ新三郎 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/17	○請取申銀子之事(三人ひろしまへ御戻り之時おの道方御送り候舟かこちん飯米共)	元和5.8.17	たくミや三郎右衛門・てぼう新右衛門・土堂町米や源兵衛 与兵衛殿他4名	豎紙・(1通)
204/36	○うけ取申銀子之事(木比村之御米竹中采女様衆御請有之、舟ニ御積候ヲ御とめ舟方おろし申候時小舟者そう出し申候ちん)	元和5.8.17	ミゾの上五郎左衛門 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/26	○請取候て払申銀子之事(ひろ嶋にてたい・はまちかい候て釜に被成候銀子等払申候)	元和5.8.18	笠岡や内与一郎 与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
204/37	○うけ取申銀子之事(惣町中地子米御指出之時ニ付いたや彦右衛門等三原へ参候時小舟ちん飯米)	元和5.8.21	渡しばノ三郎左衛門 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/38	○うけ取申銀子之事(町中地子米御指出之時ニ付しぶや与市兵衛等のせ小舟ニ而三原へ参候ちん飯米)	元和5.8.22	渡しばノ三郎左衛門 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/30	○うけ取申銀子之事(三原へ年寄衆御出候時船中ノ薪御かい候銀子)	元和5.8.23	こたまや内与市 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/27	○請取候て払申銀子之事(但馬守様為御礼広嶋へ年寄衆御下之時船中・さきさまにてまかない代)	元和5.8.25	かさほかや内与一郎 与兵衛殿他4名	豎継紙・(1通)
204/32	○請取申銀子之事(広嶋へ町中の方年寄衆御下り之時、三原へ年寄衆御下り候時舟かこちん飯米)	元和5.8.25	荒神堂町ノ惣七 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/39	○請取申銀子之事(代官門田・岸様広嶋方御上り之時御迎舟かこちん飯米)	元和5.8.28	ざくろ小路ノ善五郎・薬師堂町太郎二郎 与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
204/40	○請取申銀子之事(きし・門田様為御迎尾道老中方広嶋へ御下の時入目御合力として)	元和5.8.28	其也 与兵衛殿他4名	豎紙・(1通)
204/41	○請取申銀子之事(代官兩人ひろ嶋方御上り之時迎人不足ニ付飛脚ひろ嶋へ参候ちん飯米)	元和5.8.28	長へのだまり三郎四郎 与兵へ殿他4名	豎切紙・(1通)
204/42	○請取申銀子之事(安藤対馬守様広嶋方御上りかこのおのみち方出申五拾六人之内三拾六人) 奥部欠落			豎切紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
81	〔元和五年八月晦日月行事請取継〕			継・1紙(4通)
81/1	○〔大坂 <sup>方</sup> 紀州わか山へ五そうの御舟相まわし申、きのわだにて御米積申、和歌山へ相届ケ申候ちん銀請取〕 端部欠洛	元和5.8.晦	ひろ嶋かこ三拾六人ノ頭道宗ノ大郎兵衛他4名 与兵衛殿・彦右衛門殿・清三郎殿・助九郎殿・久三郎殿	縦紙・(1通)
81/2	○請取申銀子之事(御入部御用しけきノ由にて御やとい被成御奉公仕候しんろう分こうけ取)	元和5.8.晦	ふるノ少路与市 与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
81/3	○請取申銀子之事(今月分の町中 <sup>方</sup> 之合力分)	元和5.8.晦	下はしり喜介・同惣五郎・同久七 与兵衛殿他4名	縦紙・(1通)
81/4	○請取申銀子之事(町中 <sup>方</sup> 合力銀当月分)	元和5.8.晦	庄や平右衛門 しふや与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
229	銀子払日記	元和5.8.	しふや与兵衛・いたや彦右衛門・大入や清三郎・なんぶや久三郎・四分一屋助九郎	横長・1冊
109	元和六年三月ニ式年領貫 長江西かた新町共二 奥部破損	元和6.6.3		縦紙・1通
35	貫壹年分各々取かへ帳	元和6.8.7	しふや与兵衛組	縦冊・1冊
40	元和六年八月番払之帳	(元和6.8.1~4)		縦紙・1通
41	元和六年八月番請銀之覚	(元和6.8.)		縦紙・1通
42	元和六年八月分月行事請遣方之帳・元和六年八月番請銀之覚	(元和6.8.)	しふや与兵衛・いたや彦右衛門・大入や清三郎・なんぶや久三郎・しふいちや助九郎	縦紙・1通
143	元和七年七月分月行事一紙ノ事 奥地部破損	(元和7.)7.29	与兵衛・清三郎・久三郎・助九郎	縦継紙・1通
105	町打貫高之覚(元和六年より八年迄貫申高) 地部破損			縦紙・1通
36	月行事請遣之帳	元和8.6.	与兵衛・久作・清三郎・久三郎・助九郎	縦冊・1冊
34	月行事請遣方之帳	元和9.6.	与兵衛・久作・清三郎・久三郎・助九郎	縦冊・1冊
78	元和六年三月之貫 <sup>方</sup> 元和九年六月迄之町打算用目録 端地部破損	元和9.6.晦	しふや与兵衛・大入や清三郎・なんぶ久三郎・いたや久作・しふいちや助九郎	縦継紙・1通
80	元和九年六月分月行事一紙の事 端裏に「元和九年六月番ノ目録」と貼紙あり,地部破損	(元和9.)6.晦	与兵衛他4名	縦継紙・1通
137	元和九年六月番月行事ノ請取 以上灰銀壹貫三百三拾九匁八分六リン払	(元和9.)7.晦	与兵衛・久三郎・久作・清三郎・助九郎	継・1紙(57通)
137/2	○請取申銀子之事(御爰さし三吉殿三原迄御戻り之時小舟ちん飯米)	元和9.6.朔	ねすみや与七 しふや与兵衛殿・しふいちや清右衛門殿・大入や清三郎殿・なんぶや久三郎殿・いたや久作殿	縦切紙・(1通)
137/3	○請取申銀子之事(広嶋御爰さし三吉殿まかない銀子)	元和9.6.朔	下庄や喜介・同久七・同吉右衛門 しふや与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
137/55	○請取申銀子之事(六月朔日之御能ニ酒御用之由にて当月行司持参申候酒之代銀子)	元和9.6.朔	大商内与市 しんぶーや清右衛門殿他3名	縦切紙・(1通)
137/56	○請取申銀子之事(沖安兵衛様へ六月朔日之御礼ニまなかつを壹枚かいなされ候代銀子)	元和9.6.朔	れうしの三郎太 しふや与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
137/4	○請取申銀子之事(多嶋へ干鯛きりニ御座候むろやの又八郎殿のせ申参候ちん銀子)	元和9.6.2	ねすみや与七 しふや与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
137/5	○請取申銀子之事(帳紙御用之由にてれうし壱束売申代銀子)	元和9.6.2	十四日町かみや藤右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/6	○請取申銀子之事(多嶋へ塩鯛切ニ御座候時加子三人共参候ちん銀子)	元和9.6.3	さぬきや新二郎 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/7	○請取申銀子之事(御ふれ状持御座候御使夕めし申入め銀子ニ請取払)	元和9.6.3	庄や五郎右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/1	○若殿様御上洛之時御共加子ちん銀請取申事	元和9.6.5	いつみや新蔵加子うたの与作他32名 しぶや与兵衛殿組他4名	豎継紙・(1通)
137/8	○請取申銀子之事(沖安兵衛様広嶋へ御戻之時舟壱そう加子壱人ちん飯米)	元和9.6.5	小物や理右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/9	○請取申銀子之事(御使者三人尾道方も迄小舟にて送り申ちん飯米)	元和9.6.5	ねすみや与七 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/10	○請取申銀子之事(御用ニ三原すみや惣右衛門方へ御樽取ニ参候ちん銀子)	元和9.6.5	ねすみや与七 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/11	○請取申銀子之事(多嶋へひたい取ニ小舟にて参候ちん銀子) 天部破損	元和9.6.5	渡しばノけいちや源右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/12	○請取申銀子之事(広嶋加子請取奉行とのへかミ被進候由にて壱束売申代銀子) 天部破損	元和9.6.5	かみやノ久八 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/13	○請取申銀子之事(尾道方加子廿三人のせ広嶋へ御下り渡し申時舟加子ノちん飯米)	元和9.6.5	薬師堂小路ねんろつや弥市 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/14	○請取申銀子之事(三原すみや惣右衛門方へ御樽六ツ又取ニ参候ちん銀)	元和9.6.6	ねすみや与七 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/15	○請取申銀子之事(御たゞミのおもて・干鯛野村理兵衛殿のせ広嶋へ参候ちん飯米共)	元和9.6.6	渡しは家敷新左衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/16	○請取申銀子之事(御たゞミのおもて・ひたい御頼の時六日のあさ夕のめし振舞申候入めニ請取払)	元和9.6.6	庄や五郎右衛門・同喜介 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/17	○請取申銀子之事(多嶋へ干鯛取ニ小舟にて参候ちん銀子)	元和9.6.7	渡しはの宮太郎・同三郎左衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/18	○請取申銀子之事(三原すみや惣右衛門方へ上り樽ヲ尾道方持参候ちん銀)	元和9.6.8	くぼ町ふるの小路与市 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/19	○請取申銀子之事(三原のすみや惣右衛門方へ御樽取ニ参候ちん銀子)	元和9.6.10	渡しはの源二郎 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/20	○請取申銀子之事(榎本専介殿尾道へ中戻り被成候而広嶋へ御下り之時舟ニ加子壱人共ニ参候ちん飯米)	元和9.6.11	渡しは家敷新左衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/21	○請取申銀子之事(若殿様御上洛之時町中へ御進上被成候由にて御樽売申代銀子)	元和9.6.11	はまや源四郎・ゆいだや二郎右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/23	○請取申銀子之事(十二日のまかない夕めし御系さし三吉殿振舞入め銀ニ請取払)	元和9.6.12	下庄や久七・同喜介・同吉右衛門 しぶや与兵衛殿組他4名	豎切紙・(1通)
137/24	○請取申銀子之事(御系さし三吉殿御たかの系持てひろしまへ参候ちん銀)	元和9.6.12	系ひすや小路善五郎 しぶや与兵衛殿組他4名	豎切紙・(1通)
137/31	○請取申銀子之事(御供藤田長大夫殿へ町中へ御進上之御樽酒之代銀子)	元和9.6.12	山村忠右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/32	○請取申銀子之事(御供藤田長大夫殿へ年寄衆御進上之御樽壱ツ売申代銀子)	元和9.6.12	ゆいたや二郎右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/22	○請取申銀子之事(若殿様御上洛之時町中へ御進上之由にて年寄衆余崎沖ニ而上ケ被申候御酒之代銀子)	元和9.6.13	山村や忠右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
137/25	○請取申銀子之事(若殿様御上洛之時藤田下右衛門殿御めしニ付町中 <sup>方</sup> 加子四人三原沖 <sup>方</sup> 余崎沖迄参候ちん銀子)	元和9.6.13	かねぐや久次郎他3名 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/26	○請取申銀子之事(若殿様御上洛之時尾道 <sup>方</sup> 御樽之肴ニ干鯛等御用之由にて売申代銀子)	元和9.6.13	たくミヤ二郎左衛門 しぶや与兵衛殿組他4名	豎切紙・(1通)
137/27	○請取申銀子之事(若子様御上洛之時町中 <sup>方</sup> 御進上御樽之肴ニ干鯛売申候代銀子)	元和9.6.13	多嶋や二郎市 しぶや与兵衛殿組他4名	豎切紙・(1通)
137/28	○請取申銀子之事(藤田下右衛門様御見立ニ沖迄御出被成候ニ付小舟へはし舟ニ参候ちん銀子)	元和9.6.13	渡しばノ源二郎 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/29	○請取申銀子之事(年寄衆為御見廻余崎沖迄御出之時舟ニ加子式人ともニ参候ちん銀子)	元和9.6.13	ねすミヤ与七 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/30	○請取申銀子之事(若殿様御上洛之時小舟にておんどのせとまで御舟見ニ参候ちん銀子)	元和9.6.13	渡しばの与七 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/44	○請取申銀子之事(門田義右衛門様御煩ニ付御見舞ニ町中 <sup>方</sup> 為御音信御樽ゆい申代銀子)	元和9.6.13	はまや源助・ゆいたや二郎右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/54	○請取申銀子之事(若殿様御用薪木八拾束参候時木ゆいなをし申、なわ五束御用之由にて売申代銀子)	元和9.6.13	ミつきノ三郎太郎 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/33	○請取申銀子之事(若殿様御めし舟ともニかゝり候ニ付藤田下右衛門殿御内のせ小舟にて参候ちん銀子)	元和9.6.15	渡しは宮太郎 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/34	○請取申銀子之事(広嶋御系さし三吉殿うかしまへ三晩小舟にて行戻りのせ申ちん銀)	元和9.6.15	渡しばの宮太郎 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/35	○請取申銀子之事(若殿様ともより御飯米ニ白米御用ニ付売束申代銀子)	元和9.6.16	川崎や弥右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/36	○請取申銀子之事(若殿様とも <sup>方</sup> 薪御用ニ付町中 <sup>方</sup> 買候て被進候わり木の代銀子)	元和9.6.16	事成善右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/37	○請取申銀子之事(若殿様とも <sup>方</sup> 大こん御用ニ付大束式わうり申代銀子)	元和9.6.16	後地くミかしら新三郎 しぶや与兵衛殿他3名	豎切紙・(1通)
137/38	○請取申銀子之事(若殿様とも <sup>方</sup> 尾道へ御飯米并ニ薪御用ニ付舟加子ちん銀子)	元和9.6.16	はりまや惣七 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/39	○請取申銀子之事(若殿様ともにて御ちやのゆすミ御用ニ付黒三俵売申代銀子)	元和9.6.16	板や久作 しぶや与兵衛殿他3名	豎切紙・(1通)
137/40	○請取申銀子之事(広嶋御系さし三吉殿御戻之時三原迄送り参候ちん銀)	元和9.6.16	渡しばねすミヤ与七 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/41	○請取申銀子之事(若殿様へ尾道町 <sup>方</sup> 御進上之すゝき四こん売申代銀子)	元和9.6.17	よしわのよたう しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/42	○請取申銀子之事(若殿様へ尾道町 <sup>方</sup> 為御音信きど平左衛門あふとまで参候ちん銀)	元和9.6.17	渡しばノ宮太郎 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/43	○請取申銀子之事(三原之すミヤ惣右衛門 <sup>方</sup> へ御樽五ツ取ニ参候ちん銀子)	元和9.6.18	渡しばの源二郎 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/45	○請取申銀子之事(門田義右衛門様御煩之由にて町中 <sup>方</sup> 為御音信被進上候酒代銀子)	元和9.6.19	山村や忠右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/46	○請取申銀子之事(門田義右衛門様御見舞ニ御年寄衆広嶋へ御下りなされ候ときふり三拾売申代銀子)	元和9.6.19	ぬたや小右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
137/47	○請取申銀子之事(火用心水手桶ゆいなをし申ちん銀子)	元和9.6.22	はまや源四郎・ゆいたや孫四郎 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/48	○請取申銀子之事(御中ニ帳かミ御用之由にてかミ五帖売申代銀子)	元和9.6.22	十四日町かミや藤右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/49	○請取申銀子之事(門田様為御見舞町中方も広嶋へ御樽参候時舟ニ加子式人共ニ参候ちん飯米)	元和9.6.25	家敷新左衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/50	○請取申銀子之事(御いしふね三太郎ニしほ打申今月分のちん銀子)	元和9.6.29	右京源二郎 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/51	○請取申銀子之事(今月之月別銀)	元和9.6.29	庄や五郎右衛門 しぶや与兵衛殿組他4名	豎切紙・(1通)
137/52	○請取申銀子之事(今月之月別不下かた銀子)	元和9.6.29	喜介・久七・吉右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/53	○請取申銀子之事(ひろしま御たかしやう兩名尾道へ御座候まかないの入れ)	元和9.6.晦	下庄や喜介・同久七・同吉右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	豎切紙・(1通)
137/57	○請取申町打銀子之事(先月番ノ払残り之銀子)	元和9.7.3	山村や忠右衛門他4名 しぶや与兵衛殿組他4名	豎切紙・(1通)
198	きし本与左衛門殿算用覚・同与左灰吹算用覚 天地部破損	(慶長19~元和9)		豎継紙・1通
50	[ ]番月行事銀子讀 ]一紙之事 端・奥部破損大	寛永元.5.晦	しぶや与兵衛他4名 (4名)	豎継紙・1通
180	[元和六年三月より寛永元年七月迄式年領貫]			継・1継(14継)
180/1	○[元和六年三月式年領貫払方請取] 13点		与兵へ組	継・(1継)
180/1-13	○元和五年五月とりかへの覚	元和5.5.24	いつみや七郎右衛門くミ しぶや与兵衛殿くミ	豎切紙
180/1-1	○[御とりかへの銀之事] 端部欠	元和5.6.2	宗味組 ひろしまや源右衛門殿・宗四郎殿	豎切紙
180/1-2	○御とりかへ銀子之事	元和5.6.2	宗味組 かめ河清右衛門殿	豎切紙
180/1-3	○請取申江戸加子之銀ノ事(広嶋へくたり逗留日数三拾日分のちん)	元和5.6.12	とうちん善吉 ひろしまや源右衛門殿	豎切紙
180/1-4	○うけ取申かこまへちん銀之事(但馬様江戸へ被成御上洛候時のかこまへちん)	元和6.正.15	ノ白石や甚五郎 ひろしまや宗四郎殿	豎切紙
180/1-5	○おほへ(杉田新兵へ様御通り之時三原まで馬寄ひきかり申候駄ちん)	元和6.正.16	二郎左衛門之当月行司 たくみや又三郎殿	豎切紙
180/1-6	○請取申銀子之事(殿様江戸御上洛之時かこのまへちん)	元和6.3.27	亀川清右衛門・又左衛門・善左衛門 すみや孫宗殿	豎切紙
180/1-7	○うけ取申銀子之事(殿様御上洛被成候時のかこのまへちんニ御取かへの銀)	元和6.3.27	清右衛門・助市・善左衛門 かなや又左衛門殿	豎切紙
180/1-11	○請取申銀子之事(六拾式勾八分)	元和6.3.27	清右衛門・久左衛門・善左衛門・助二郎 与兵へ殿・清三郎殿・助九郎殿・久三郎殿	豎切紙
180/1-8	○御取かへ候銀事(殿様出むかいニともまで被出候おくりかこ一人四日分)	元和6.卯.8	藤左衛門・新五郎 かめ川せい右衛門殿	豎切紙
180/1-9	○請取申銀子事(殿様ともまで御むかいニ参候銀子)/うけ取申銀子事(殿様三原へ送申銀子) 豎切紙1枚に2通を記入	元和6.卯.8	かなや惣右衛門・大はち善右衛門 かなや善四郎殿/善右衛門・惣右衛門 かなや善四郎殿	豎切紙
180/1-10	○うけ取申銀子之事(但馬守様御迎ニ御鉄炮衆尾道方ともまで送申ちん飯米)	元和6.4.8	吉左衛門・正九郎 ひろ嶋や源右衛門殿・同宗四郎殿	豎切紙

番号	表題	年代	作成	形態・数量
180/1-12	○請取申銀子事(三月ニ式年分賞之内うけ取)	元和6.6.3	すみや宗味組 しぶや与兵衛殿組	豎切紙
180/2	○元和六年九月式年領賞之うけ取也 8点		与兵衛組	継・(1継)
180/2-5	○うけ取申銀子之事(拾式刃八分式厘)	元和6.7.11	米や二郎兵へ他3名 ひろしまや宗四郎殿	豎切紙
180/2-6	○うけ取申銀子之事(拾刃)	元和6.7.17	米や次郎兵へ他3名 広嶋や源右衛門殿	豎切紙
180/2-1	○うけ取申銀子之事(九月式年分賞銀ニ請取申上ケとまの代物ニ払申候)	元和6.11.11	大紺や善左衛門・あがや助次郎・いもしや市右衛門・うつほや惣太郎・同太郎右衛門 しぶや与兵衛殿	豎切紙
180/2-2	○うけ取申銀子之事(九月式年分賞銀ニ請取申上ケとまの代銀ニ払申候)	元和6.霜.11	大紺や善左衛門他4名 しぶいちや助九郎殿	豎切紙
180/2-3	○うけ取申銀子之事(九月式年分賞銀ニ請取上ケとまノ銀ニ払申候)	元和6.11.11	大紺や善左衛門他4名 大入や清三郎殿	豎切紙
180/2-4	○うけ取申銀子之事(九月式年分賞銀ニ請取申上ケとまノ銀ニ払申候)	元和6.霜.11	大紺や善左衛門他4名 なんぶや久三郎殿	豎切紙
180/2-7	○うけとり申町うち銀の事(九月の賞式年分ノ内うけ取)	元和6.12.26	ふてや正兵へ他4名 しぶや与兵衛くミ	豎切紙
180/2-8	○請取申銀子之事(元和六年九月二年領ノ賞銀之内うけ取)	元和7.3.28	やけや久蔵他4名 しぶや与兵衛殿他3名	豎切紙
180/3	○元和六年後十二月式年分賞払方うけ取也 8点			継・(1継)
180/3-1	○七拾四人かこノ内ニ御とり替之事	元和6.12.27	こたま二郎左衛門くミ当月行司 広嶋や源右衛門殿	豎切紙
180/3-2	○七拾四人かこノ内ニ御取かへの事	元和6.後12.	こたま二郎左衛門くミ当月行司 すみや孫蔵殿	豎切紙
180/3-3	○七拾四人かこノ内ニ御とりかへの事	元和6.後12.5	こたま二郎左衛門くミ当月行司 広嶋や惣四郎殿	豎切紙
180/3-4	○請取申銀子之事(閏十二月式年分之内町打賞銀)	元和6.閏12.7	いwashや二郎右衛門・いもしや伝二郎 亀川清右衛門殿	豎切紙
180/3-5	○請取申灰銀之事(元わ六年後十二月ノ式年分町打賞)	元和6.閏12.28	こたま二郎左衛門くミ当月行司 しぶや与兵衛殿くミ	豎切紙
180/3-6	○請取申銀子之事(元和六年閏十二月二年領賞銀之内)	元和7.3.28	やけや久蔵他4名 しぶや与兵衛殿他3名	豎切紙
180/3-7	○請取申銀子之事(元和六年閏十二月式年分賞銀子之内)	元和7.5.21	すみや宗味組 しぶや与兵衛殿組	豎切紙
180/3-8	○うけ取申灰銀之事(元和六年十二月賞之銀)	元和7.5.25	すみや宗味組 しぶや与兵衛殿他3名	豎切紙
180/4	○元和七年三月式年分賞払方うけ取 端裏書あり, 3点		与兵衛組	継・(1継)
180/4-1	○次相申銀子之事(御石舟ノくらく木大ひきもの三本かい申、町打ニ御さん用にて御さし次)	元和7.3.29	やけや久蔵他4名 かなや善四郎殿	豎切紙
180/4-2	○請取申銀子之事(元和七年三月式年分賞銀子之内)	元和7.5.21	すみや宗味組 しぶや与兵衛殿組・四分一助九郎殿・大入清三郎殿	豎切紙
180/4-3	○うけ取申灰銀之事(元和七年三月賞之銀)	元和7.5.25	すみや宗味組 しぶや与兵衛殿他3名	豎切紙
180/5	○元和七年七月壹年領賞払方請取 端裏書あり, 3点			継・(1継)
180/5-2	○御中ニ無銀子候間取替銀子之事	元和7.6.20	広嶋や源右衛門他3名 広嶋屋宗四郎殿	豎切紙

番号	表題	年代	作成	形態・数量
180/5-1	○御とりかへ被成候銀子之事(大坂へ御ふしん奉行衆おくりかこ先々不入候間ひろしまもとり申候ちんはん米)	元和7.6.25	広嶋や源右衛門組 ひろしまや宗四郎殿	豎切紙
180/5-3	○請取申貫銀子之事(元和七年七月老年領貫銀)	元和7.8.29	山村忠右衛門他4名 与兵衛殿組	豎切紙
180/6	○元和七年九月式年領貫払方うけ取 端裏書あり, 6点		与兵衛組	継・(1継)
180/6-4	○お中へ取替申銀子之事(但馬様御下り之時むかい船ニ参候かこちん飯米) 地部破損	元和7.6.8	ひろ嶋や宗 ] 四分屋与兵へ殿組	豎切紙
180/6-1	○御取替之銀子之事(御鉛舟之加子四拾式人之内新三郎ニまへちんニ相渡し申候) 奥地部破損	元和7.9.27	はいや二郎右衛門他4名 亀川清右衛門殿	豎切紙
180/6-2	○御取替之銀子之事(御鉛舟之加子四拾式人之内正三郎ニまへちんニ相渡し申候) 地部破損	元和7.9.27	はいや二郎右衛門他4名 広嶋や源右衛門殿	豎切紙
180/6-3	○御取替之銀子之事(御鉛舟之加子四拾式人之内与 冨へちんニ相渡し申候) 地部破損	元和7.9.27	はいや二郎右衛門他4名 ひろしまや宗四郎殿	豎切紙
180/6-5	○請取申銀子之事(元和七年九月式年領町打 銀子之内請取、御鉛舟ノ加子之ちん銀) 地部破損	元和7.10.晦	大紺や善左衛門他4名 しぶや与兵衛殿組	豎切紙
180/6-6	○うけ取申町打貫銀子之事(元和七年九月式年領之内請取、広嶋へかゝすおないのないちんニ渡し申銀)	元和7.9.5	はいや二郎右衛門・いわしや大郎作・かなや又七郎 広嶋や源右衛門殿	豎切紙
180/7	○元和八年五月式年領貫払方うけ取 端裏書あり, 4点			継・(1継)
180/7-1	○御とりかへ被成候銀子之事(当月ニお中ニ遣銀無御座候てかり申候以来町打ニ御さし次御さん用)	元和7.12.28	こたま二郎左衛門・山や孫二郎・いもしや伝二郎・うわしや二郎右衛門 ひろしまや源右衛門殿	豎切紙
180/7-2	○御とりかへ被成候銀子之事(当月ニお中ニ遣銀無是候てかり申候以来町打ニ御さん用にて御さし次)	元和7.12.28	こたま二郎左衛門他3名 ひろしまや宗四郎殿	豎切紙
180/7-3	○御取替被成候銀子之事(御上りかこ五十三人之内ニ参候ちん銀)	元和8.正.27	かなやま与一郎組 ひろしまや源右衛門殿	豎切紙
180/7-4	○御取替被成候銀子之事(御上りかこ五十三人之内ニ参候ちん銀)	元和8.正.27	金山や与一郎組 広嶋や惣四郎殿	豎切紙
180/8	○元和八年九月式年領貫払方うけ取 端裏書あり, 2点			継・(1継)
180/8-1	○請取申町打貫銀子之事(御本家式年領貫銀子)	元和8.9.5	大紺屋善左衛門他3名 ひろしまや源右衛門殿	豎切紙
180/8-2	○請取申町内貫銀子之事(御本家貫銀式年領)	元和8.9.5	大紺屋善左衛門他3名 広嶋屋惣四郎殿	豎切紙
180/9	○元和九年式月式年領貫払方請取 端裏書あり, 3点			継・(1継)
180/9-1	○御取替之銀子之事(御鉛舟之加子四拾式人之内源三郎ニまへちんニ相渡し申候)	元和7.9.27	はいや二郎右衛門他4名 かしまや源右衛門殿・すみや源三殿	豎切紙
180/9-2	○請取申銀子ノ覚(杉けたノ代)	元和8.極.28	金山や与一郎他3名 かなや又左衛門殿組中	豎切紙

番号	表 題	年 代	作 成	形 態・数量
180/9-3	○請取申町打銀子之事(笠岡や少左衛門殿方)	元和10.2.29	いつみや新蔵他2名 しばや 与兵衛殿他4名	豎切紙
180/10	○元和九年閏八月式年領貫払方請取 端裏書あり, 3点			継・(1継)
180/10-1	○御取替被成候町打銀子之事(元和九年八月式年領町打貫銀之内請取申、広嶋へとまかつらくゞ之代銀子ニ調申候)	元和9.8.21	当月はいや二郎右衛門他4名 ひろしまや宗四郎殿	豎切紙
180/10-2	○御取替被成候町打銀子之事(元和九年八月式年領町打貫銀之内請取申、広嶋へとまかつらくゞ之代銀子ニ調申候)	元和9.8.21	当月はいや二郎右衛門他4名 ひろしまや源右衛門殿	豎切紙
180/10-3	○請取申町打銀子之事(元和九年閏八月式年領貫銀之内) 地部破損	元和9.閏8.22	大紺や善左衛門他4名 しば や与兵衛殿他4名	豎切紙
180/11	○寛永元年正月式年分貫払方請取 端裏書あり, 2点			継・(1継)
180/11-1	○請取申銀子之事(元和拾年正月式年分町打銀請取御上洛加子ちん銀ニ渡し申候) 地部破損	元和10.正.28	大こくや久蔵他4名 しばや 与兵衛殿他4名	豎切紙
180/11-2	○請取申町打銀子之事(元和拾年正月式年領之内銀請取申、御上洛加子前賃ニ渡し申候) 地部破損	元和10.正.29	大黒や久蔵他4名 しばや 兵衛殿組他4名	豎切紙
180/12	○寛永元年卯月元年領貫払方請取 端裏書あり, 2点			継・(1継)
180/12-1	○請取申町打銀事(元和拾年正月式年領貫ノ内うけ取、御上洛かこ九拾五人まへちんニ払申候) 奥地部破損	元和10.正.29	大こくや久蔵他4名 しばや 与兵衛殿組	豎切紙
180/12-2	○請取申町打銀子之事(御上洛加子九拾五人之内賃銀子前御渡し)	寛永元.卯.29	広嶋や源右衛門他4名 しば や与兵衛殿組	豎切紙
180/13	○寛永元七月ノ式年分 2点			継・(1継)
180/13-1	○請取申町打銀子事(元和拾年式年領貫内うけ取申、御上洛かこ九拾五人のまへちんニ払申候)	元和10.正.29	大こくや久蔵他4名 しばや 与兵衛殿組	豎切紙
180/13-2	○請取申町打銀子之事(寛永元年七月式年領貫銀子之内請取、今月遣銀子ニ仕候) 天部破損	寛永元.10.20	こたまや二郎左衛門他4名 しばや与兵へ組いたや久作殿	豎切紙
180/14	○[貫払方請取] 3点			継・(1継)
180/14-1	○請取申町打銀子之事(元和拾年正月式年領之内請取、御上洛加子九拾五人之内江渡し申候) 天部破損	元和10.正.29	大こくや久蔵他4名 しばや 与兵衛殿組	豎切紙
180/14-2	○請取申町打銀子之事(御上洛かこ九拾五人之内賃銀前御渡し) 天部破損	寛永元.卯.30	広嶋や源右衛門他4名 しば や与兵衛殿組	豎切紙
180/14-3	○取替被成候銀子請取申候事(官人御下り加子町貫銀子之内にて) 破損大	寛永2.2.29	いつみや九[ ]他	豎切紙
106	元和十年正月之式年領貫之未進 天部破損		しばや与兵衛組	折紙・1通

番号	表題	年代	作成	形態・数量
101	寛永元年五月番月行事之時町打貫出し申にて遣申覚 地部破損, 端裏書あり	寛永元. 5. 晦	与兵へ・助九・清三・久作・久三	縦継紙・1通
30	〔元和六年三月より寛永三年十月迄式年分貫〕			縦冊・1冊
219	〔寛永三年十二月番月行事請取継〕			継・1継(7通)
219/4	○請取申銀子之事(先代御借付米広嶋方御改候へ共かり主しれさるぶん仍有之、紀州大崎玄蕃殿へ年寄中書状持参候賃飯米)	寛永3.12.12	くほ町四郎兵衛 しぶや与兵衛殿・いたや久作殿・大入や清三郎殿・なんぶや久三郎殿・四分いちや清右衛門殿	縦切紙・(1通)
219/5	○請取申銀子之事(先代御借付米広嶋方御改候へ共かり主しれさるぶん仍有之播州間嶋美作殿へ年寄中書状持参候賃飯米)	寛永3.12.12	土堂町いよや喜介 しぶや与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
219/3	○請取申銀子之事(広嶋へ御地子銀子持参候ニ付万事遣銀ニ飯米有賃銀共ニ)	寛永3.12.25	尾道庄や五郎右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
219/6	○請取申銀子之事(広嶋江尾道町御地子銀并御歳暮之御樽持参仕候舟・加子賃飯米)	寛永3.12.25	安友五左衛門 しぶや与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
219/1	○請取申銀子之事(寛永三年分御地子銀納所仕、御銀奉行両名請取とり申、下右衛門殿へ上ケ申候)	寛永3.12.晦	庄や五郎右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	縦紙・(1通)
219/2	○請取申銀子之事(寛永三年分御地子銀納所仕、御銀奉行両名請取とり下し、下右衛門殿へ上ケ申候)	寛永4.2.19	庄や五郎右衛門 しぶや与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
219/7	○請取申地子銀子之事(寛永三年分地子未進銀子請取申、同年分ノ御加子銀未進銀ノ内ニ広嶋へ御調申候)	寛永4.12.12	米や二郎兵衛他4名 しぶや与兵衛殿他4名	縦切紙・(1通)
203	〔寛永十年十月番月行事請取継〕			継・1継(12通)
203/1	○[ 銀子之事(仁兵衛・八助薪そうじ味噌塩さかなわらんぢ万事まかない申入め銀めいめいへ小日記前請取払) 端部破損	寛永10.10.9	肝煎久右衛門・同又左衛門 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
203/2	○請取申銀子之事(御系さし仁兵衛・八助尾道ふいんのしまへ小舟にて送り参候賃銀飯米代)	寛永10.10.9	わたしば与市 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
203/3	○請取申銀子之事(御運上舟広嶋方出シ申処ニ船舟ノ上棚つきわりそんじ申ニ付町中へ被遣候銀子)	寛永10.10.9	わたしば善三郎 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
203/4	○請取申銀子之事(大坂へ近藤猪右衛門様御内衆三原へ送り申候舟賃飯米)	寛永10.10.14	わたしばノ助二郎 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
203/5	○請取申銀子之事(広嶋御奉行衆方瀬戸田ニ御座候御代官様へ御状箱持小舟ニ参候賃飯米)	寛永10.10.15	御所町三蔵 ふや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
203/6	○請取申銀子之事(広嶋ニ而芋ないとまかつら之儀頼申候ニ付酒・たるかい申代銀)	寛永10.10.15	いつみや庄右衛門内義助 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
203/7	○請取申銀子之事(広嶋へ御代官様御状箱持参候筆屋庄兵衛殿賃銀飯米) 奥天部破損	(寛永10.10.18)	さやノ前孫右衛門 [ ]与	縦切紙・(1通)
203/8	○請取申銀子之事(かミ式束御用之由にて売申代) 天部破損	寛永10.10.21	米や三四郎 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
203/9	○請取申銀子之事(たいうす御せんさくニ付帳作りかミ三束売申代銀)	寛永10.10.24	見せノ又兵衛 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
203/10	○請取申銀子之事(大うす御せんさくニ付帳かミ御用之由にて上々紙二束売申代銀)	寛永10.10.27	かなやひさ しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
203/11	○請取申銀子之事(大うす御せんさくニ付帳かき申候苦身分ニ被下候銀子)	寛永10.10.29	神主権三郎・孫作 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
203/12	○請取申銀子之事(今月之月別銀)	寛永10.10.29	(肝煎)久右衛門・又左衛門 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
203/13	○請取申銀子之事(今月之月別銀)	寛永10.10.29	庄や五郎右衛門 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
94	請取申銀子之事(江戸御祝儀町貫銀残銀月行事請取)	寛永13.正.10	亀川喜右衛門・小物や理右衛門・すみや新蔵・なんぶや久三郎・金や惣右衛門 しぶや市右衛門殿	縦紙・1通
118	〔月行事しぶや市右衛門組請取継〕			継・1継(3通)
118/1	○請取申銀子之事(御借銀包紙御遣ニ付売申候中紙巻束代)	寛永14.12.1	米や三郎右衛門 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
118/2	○請取申銀子之事(送り状御よこめ宿へ入木仕候ヲかい申候薪之代) 天部破損	寛永14.12.1	下庄や又左衛門 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
118/3	○請取申銀子之事(きりしたん御法度書物帳ニ仕候用ニ売申候上紙巻束之代) 天地部破損	寛永14.12.1	米や三郎右衛門 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
175	〔月行事しぶや市右衛門組請取〕			継・1継(4通)
175/1	○請取申銀子之事(有間玄蕃様御下りニ付而神辺迄様子聞申飛脚ニ参候ちん銀)	寛永14.12.3	なかへ与七郎・同甚吉 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
175/2	○請取申銀子之事(あかし油壺升送り状御用ニ売申代銀) 地部破損	寛永14.12.3	あふらや与兵衛 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
175/3	○請取申銀子之事(出羽守様方送り状栗原方持参り候使向嶋へ渡し申候ちん銀)	寛永14.12.3	わたしは助二郎 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
175/4	○請取申銀子之事(西川角左衛門様広嶋へ御下りニ付船ニ送り申賃銀) 天・奥部破損	寛永14.12.4	[ ] しぶや [ ]	縦切紙・(1通)
114	〔月行事しぶや市右衛門組請取継〕			継・1継(7通)
114/1	○〔不明〕 宛書部分のみ残存		しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
114/2	○請取申銀子之事(因嶋水船之飯米持参候船賃) 天部破損	寛永14.12.10	れうし一郎右衛門 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
114/3	○請取申銀子之事(送り状御よこめニ御座候三右衛門殿へ宿入木ニ仕候薪之代) 天部破損	寛永14.12.11	下庄や久右衛門 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
114/4	○請取申銀子之事(十二月之遣紙ニ入用之紙一束之代) 天地部破損	寛永14.12.11	米や三郎 [ ] しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
114/5	○請取申銀子之事(送り状番屋のあかしニ売申魚油式升之代) 天部破損	寛永14.12.11	米や重三郎 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
114/6	○請取申銀子之事(わり木壺駄御鉄炮衆三右衛門殿へ売申代銀) 破損	寛永14.12.12	はたノ甚三郎 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)
114/7	○請取申銀子之事 表題部の一部のみ残存			縦切紙・(1通)
228	尾道町遣銀子小貫上小路帳 三通之内	寛永14.12.	しぶや市右衛門与	横長・1冊
154	〔月行事しぶや市右衛門組請取継〕			継・1継(16通)
154/14	○覚(御系さし三人因嶋へ送り申賃銀うけ取)	寛永17.2.27	わたしはの弥七郎 しぶや市右衛門殿与	縦切紙・(1通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態・数量
154/1	○覚(紙巻束うり申代銀請取)	寛永18.2.2	ミ세의孫右衛門・かまや長兵へ しふや市右衛門殿与	豎切紙・(1通)
154/2	○覚(川尻久七 <sup>方</sup> 蒲刈御かけ船之触状持来ル飛脚まかなひ入目之代銀うけ取) 奥地部破損	寛永18.2.2	専右衛門 しふや市右衛門殿与	豎切紙・(1通)
154/3	○覚(川尻久七 <sup>方</sup> かまかりかけふねの触状持来ル飛脚すなミ迄送申賃銀請取)	寛永18.2.2	御所の善吉 しふや市右衛門殿与	豎切紙・(1通)
154/11	○覚(かまかり御かけ舟之加子切米扶持方之内半分ノ代銀渡し方・扶持方代銀そん銀弁銀)	寛永18.2.2	専右衛門・当番	豎切紙・(1通)
154/4	○覚(御系さし三十郎・九蔵うり島へ御渡被成候付舟之賃銀請取)	寛永18.2.6	御所の与左衛門 しふや市右衛門殿与	豎切紙・(1通)
154/5	○覚(御系さし三十郎・九蔵因嶋へ御渡被成候付ふね之賃銀請取)	寛永18.2.6	御所の与左衛門 しふや市右衛門殿与	豎切紙・(1通)
154/6	○覚(八大夫様御屋敷縁之ひさし・湯殿・せつちん・物置ふきつくろい申御用こり申代銀うけ取)	寛永18.2.7	うつほや庄二郎他3名 しふや市右衛門殿与	豎切紙・(1通)
154/7	○覚(御系さし九大夫桑木へ送り申賃銀請取) 地部破損	寛永18.2.8	大坂や内ノ新二郎 しふや市右衛門殿与	豎切紙・(1通)
154/8	○覚(御系さし九大夫うり嶋へ御渡被成付船之賃銀うけ取) 天部破損	寛永18.2.8	大坂や内ノ新二郎 しふや市右衛門殿与	豎切紙・(1通)
154/10	○覚(かまかりかけふね之扶持方もたせ遣候時加子三人賃銀之内半分うけ取)	寛永18.2.15	かたつノ与三右衛門 しふや市右衛門殿	豎切紙・(1通)
154/9	○覚(小右衛門様御養生ニ付上方ニ御座被成候御見廻之飛脚ニ参候賃銀うけ取)	寛永18.2.16	茶うり吉兵衛 しふや市右衛門殿	豎切紙・(1通)
154/15	○覚(当月分之給分請取) 地部破損	寛永18.2.19	専右衛門・庄兵衛・久右衛門 しふや市右衛門殿	豎切紙・(1通)
154/12	○覚(喜別庄大夫殿江戸米御積遣候ニ付而御逗留被成候時買物之代銀うけ取払)	寛永18.2.20	きもいり庄兵へ しふや市右衛門殿与	豎切紙・(1通)
154/13	○覚(中屋敷へいのおゝいゑんひさしふきつくろい申御用ニ売申代銀うけ取)	寛永18.2.22	ねこや甚九郎・うつほや庄二郎・御所の伝三郎 しふや市右衛門殿与	豎切紙・(1通)
154/16	○覚(嶋原仕置帳・吉利支丹帳其外古帳入申用こり申代銀うけ取) 奥地部破損	寛永18.2.29	[ ] しふや市右衛門殿与	豎切紙・(1通)
226	尾道下町組小貫改帳	寛永18.2.	しふや市右衛門組	横長・1冊
155	{月行事しふや市右衛門組請取継}			継・1継(5通)
155/1	○{請取申銀子之事等継}	(寛永20.3.3~16)		豎継紙・(1通)
155/1-1	○請取申銀子之事(今度出来家改并式百人加子仕置御用ニ上紙巻束御買被成候代)	寛永20.3.3	かうしや隠居 しふや市右衛門殿与	
155/1-2	○請取申銀子之事(当月御遣用ニ中紙巻束売申代銀)	寛永20.3.3	かうしや隠居 しふや市右衛門殿	
155/1-3	○請取申銀子之事(御供加子式百人御割符之御触状持参候飛脚賄入目ニ払申候)	寛永20.3.6	専右衛門 しふや市右衛門殿	
155/1-4	○覚(御供か子御触状持来ル飛脚賄入目ニ払申候)	寛永20.3.10	専右衛門 しふや市右衛門殿	
155/2	○覚(御餌さし八兵衛殿賄入目ニ払申候) 奥天部破損	寛永20.3.16	下きもいり久右衛門 しふや市右衛門殿	豎切紙・(1通)
155/3	○{蒲刈御継船之加子扶持切米催促之使朝夕賄入目ニ払申候証文等継}	(寛永20.3.15~23)		豎継紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
155/3-1	○覚(蒲刈御継船之加子扶持切米催促之使朝夕賄入目ニ払申候) 天部破損	寛永20.3.15	専右衛門 しふや市右衛門殿	
155/3-2	○覚(殿様御上り之刻町中 <sup>方</sup> 進物之用ニ調申酒之代ニ請取)	寛永20.3.22	いつみや庄右衛門 しふや市右衛門殿	
155/3-3	○覚(殿様御上り被成候刻町年寄衆御進物之御用ニうり申代江請取)	寛永20.3.22	ゆいた三郎右衛門 しふや市右衛門殿	
155/3-4	○覚(殿様御上り之刻町御進物之肴種之御用ニうり申代江うけ取) 奥地部破損	寛永20.3.22	たくみや善吉 しふや市右衛門殿	
155/3-5	○覚(殿様御上洛之刻町中より御進物之肴ニうり申代銀請取) 地部破損	寛永20.3.23	よしいの太郎 しふや市右衛門殿	
155/4	○〔殿様へ御進物之生鯛積候而細嶋迄参候賃銀ニ請取証文等継〕	(寛永20.3.22~23)		豎継紙・(1通)
155/4-1	○覚(殿様へ御進物之生鯛積候而細嶋迄参候賃銀ニ請取)	寛永20.3.23	市兵へ しふや市右衛門殿	
155/4-2	○覚(殿様御上洛之刻御代官菅野八大夫様沖へ御迎ニ御出被成候船加子賃銀請取) 地部破損	寛永20.3.22	薬師堂舟頭清二郎 しふや市右衛門殿	
155/4-3	○覚(殿様御上洛之刻御代官豊永四郎左衛門様沖へ御迎ニ御出被成候加子賃銀飯米請取)	寛永20.3.22	舟頭七右衛門 しふや市右衛門殿	
155/4-4	○覚(殿様御上洛被成候刻四郎左衛門様御台所ふねニ参候銀うけ取) 天部破損大	寛永20.3.22	嶋や内ノ惣二郎 しふや市右衛門殿	
155/4-5	○覚(殿様御上洛被成候刻当町年寄御迎ニ付加子賃飯米代等請取) 天部破損大	寛永20.3.22	鳥のこ長右衛門 しふや市右衛門殿	
155/5	○〔殿様御上洛之刻夜中ニ御鷹師衆四人御乗候而さんなへ御座被成候ふねか子賃銀前請取等継〕	(寛永20.3.23)		豎継紙・(1通)
155/5-1	○覚(殿様御上洛之刻夜中ニ御鷹師衆四人御乗候而さんなへ御座被成候ふねか子賃銀前請取)	寛永20.3.23	渡しはの長兵へ しふや市右衛門殿	
155/5-2	○覚(殿様御上洛之刻百嶋ニ御かゝり被成候時植木小右衛門様 <sup>方</sup> 御呼被成候舟加子賃銀請取) 天部破損大	寛永20.3.23	嶋や甚兵へ船せんとう与作 しふや市右衛門殿	
155/5-3	○覚(殿様御上洛之刻百嶋ニ御かゝり被成候処御鷹山南村へそれ申候ニ付人足式拾五人ちん銀うけ取) 天部破損大	寛永20.3.23	備中や九郎右衛門他3名・新五郎下人 しふや市右衛門殿	
155/5-4	○覚(殿様御上洛之刻百嶋ニ御かゝり被成候処湯川左大夫殿御乗候而御座候由ニ付て御代官様 <sup>方</sup> 被仰付候船子ちん銀うけ取)	寛永20.3.23	せとたや惣九郎船あかや内二郎へ他2名 しふや市右衛門殿	
155/5-5	○覚(殿様御上洛之刻百嶋ニ御泊り被成候ニ付とをミ舟ニ被遣候賃銀うけ取)	寛永20.3.23	たうふや二郎兵へ・なかへノ二郎右衛門 しふや市右衛門殿	
155/5-6	○覚(舟か子賃銀) 破損大		備中や源二郎 [ ]	
93	〔明暦元年極月覚書継〕			継・1継(2通)
93/2	○明暦元年極月不払覚・未進覚・貫銀請取覚	(明暦元.12)		豎継紙・(1通)
93/1	○明暦元年極月貫覚	明暦2.正.		豎継紙・(1通)

番号	表題	年代	作成	形態・数量
104	二郎兵へ殿ニ銀渡し申銀ノさし引			豎切紙・1通
138	〔しふや市右衛門他与・抱銀目録〕 端部欠	.11.10		豎継紙・1通
その他				
86	上酒となミ酒との損得之覚 端裏書あり	慶長10.極.吉		豎紙・1通
108	〔きし宗左衛門書状等継〕			継・1継(3通)
108/1	○きし宗左衛門書状(さけさんやうニ付) 端裏書あり	.卯.6	六左内宗左衛門 (しふや与 右様)	豎紙・(1通)
108/2	○ひしきの銀請取申事(大西納)	慶長11.9.24	向嶋庄や小左衛門他1名	豎切紙・(1通)
108/3	○請取申銀子之事(大西調)	慶長11.霜.18	向嶋六右衛門他1名	豎切紙・(1通)
190	銀子式百めのかへり切紙 なかへかな や又左衛門殿 端裏書あり			継・1継(3通)
190/1	○覚(銀子式百刃之請取うしなひ申候一件 書付)	慶長17.9.3	与兵衛 しふや市兵へとの	豎紙・(1通)
190/2	○覚之事(式百めのかき物うしなひ申候 一件ニ付証文)	慶長17.9.3	かなや又左衛門 大にし与兵 へ様	豎切紙・(1通)
190/3	○又左衛門書状(はいふき四ふにて五百 目かわし可申候也) 破損あり	.6.20	又左衛門 兵へ様	豎切紙・(1通)
92	〔米切手他継〕	(元和3.3.1~7)		継・1継(12通)
92/1	○〔米切手〕 地部破損	元和3.3.1	嶋や仁右衛門 しふや与兵衛 殿	豎切紙・(1通)
92/3	○〔米切手〕 地部破損	(元和3).3.1	仁右衛門 与兵衛殿	豎切紙・(1通)
92/4	○〔米切手〕 裏書あり	元和3.3.4	嶋や仁右衛門 しふや与兵衛 殿	豎切紙・(1通)
92/5	○〔米切手〕 地部破損	(元和3).3.4	仁 ] 与兵衛殿	豎切紙・(1通)
92/6	○〔米切手〕	元和3.3.5	嶋や仁右衛門 しふや与兵衛 殿	豎切紙・(1通)
92/7	○〔米切手〕	元和3.3.5	嶋や仁右衛門 しふや与兵衛 殿	豎切紙・(1通)
92/8	○〔米切手〕	元和3.3.5	嶋や仁右衛門 しふや与兵衛 殿	豎切紙・(1通)
92/9	○〔米切手〕	元和3.3.5	嶋や仁右衛門 しふや与兵衛 殿	豎切紙・(1通)
92/10	○〔米切手〕	元和3.3.5	嶋や仁右衛門 しふや与兵衛 殿	豎切紙・(1通)
92/11	○〔米切手〕	元和3.3.7	嶋や仁右衛門 しふや与兵衛 殿	豎切紙・(1通)
92/12	○〔米切手〕	元和3.3.1	金山仁右衛門 しふや与兵衛 殿	豎切紙・(1通)
92/2	○預り申米事 地部破損	元和3.3.4	庄 ] しふや与兵衛殿	豎切紙・(1通)
218	〔大坂より紀州まで舟届ケニ付一札継〕 切紙5通継	未(元和5)8.23	竹元伝吉 しわくや	切紙継・1継
199	渡し申銀子之事(庄屋衆へ前番 <sup>あ</sup> かりこ し被申候間請取ニ仕候而払申候) 端裏貼紙あり,地部破損	元和8.5.晦	広嶋屋源右衛門・同宗四郎・ 米や次郎兵へ他2名 しふ屋 与兵衛殿他4名	豎紙・1通

番号	表題	年代	作成	形態・数量
91	江戸へ之御状請取事 奥地部破損	元和 8.6.26	[ ] しふや与兵衛殿組	縦紙・1通
142	かり申銀子之事(はいふき六百目ふかへのやくそくにてうり申二付)	元和 8.10.17	むかい九介他 2 名 しふや与兵衛殿	縦切紙・1通
44	米屋二郎兵衛方にて借銀へ払方之覚之事	(元和 9 頃)		縦紙・1通
213	米式石八斗納 七郎右衛門殿へ可有御渡分	. 3.22	仁右衛門 しふや与兵衛殿	縦切紙・1通
145	御請申上ル書物之事(毎日番の馬を置、駄賃馬手をつかへさる様こと被仰付候二付) 端裏書あり	寛永13.12.29	年寄三人・源右衛門・喜右衛門・馬頭・庄や 川崎多左衛門様・西川角左衛門様	縦紙・1通
174	御借銀調申高目録 ひかへ	寛永14.12.11	少左衛門・庄右衛門・彦右衛門 川崎多左衛門様・西川角左衛門様	縦紙・1通
171	覚(殿様江上り申御肴代銀うけ取渡し)	寛永16.正.6	おの道や与市 しふや市右衛門殿与	縦切紙・1通
166	覚(十五頭分賞目録)	寛永17.正.30	当月行司しふや市右衛門・庄や五郎右衛門 植木小右衛門様御内三田尻久八殿	折紙・1通
121	覚(余銀上申目録扣) 端裏書あり	慶安 4.10.22	しふや市右衛門 かめ川喜右衛門殿	縦継紙・1通
216	餓人ニ飯米渡覚	午.12.26	うつほや庄二郎 しふや市右衛門殿	縦切紙・1通
215	ひろしまや喜四郎書状(銀うけ相・年内返弁)	申.12.8	ひろしまや喜四郎 市右衛門様	縦切紙・1枚
88	覚(十四日町しふや与兵へさぬきこんひらさま参詣罷戻り候二付一札)	明暦 4.3.20	しふや与兵衛他 1 名 いつみや庄右衛門殿他 2 名	縦切紙・1通
165	〔銀目録〕 横半冊断簡か			一紙・1枚
188	〔過銀等算用〕 破損大、帳面断簡か			折紙・1枚